



NVR ファミリー
[NVR-6132U, 6132T]
操作説明書
(ディスプレイ操作編)

作成：2018/09/25



NVR ファミリー操作説明書

改訂履歴

2016/03/28	初版作成
2016/05/27	第二版作成
2016/10/13	第三版作成
2017/12/25	第四版作成
2018/03/27	第五版作成
2018/09/13	第七版作成
2018/09/25	第八版作成

目次

はじめに	1
[保証の制限]	1
[注意]	2
本製品のセットアップ.....	4
1-1 本製品の起動 (NVR-6132U)	4
1-2 本製品の停止・ハードリセット (NVR-6132U)	4
1-3 本製品の起動 (NVR-6132T)	5
1-4 本製品の停止・ハードリセット (NVR-6132T)	5
1-5 パネル機能 (NVR-6132U)	6
1-6 パネル機能 (NVR-6132T)	8
1-7 ログイン	10
A 操作編.....	11
1. ライブ映像の閲覧.....	11
1-1 ライブ映像の閲覧.....	11
1-1-1. ライブ映像の閲覧.....	11
1-1-2. シーケンス表示 (一定の間隔・順序で画面を切り替えて表示させる機能)	14
1-1-3. ローカルマップモニタ.....	16
1-2 ライブ映像の操作.....	18
1-2-1. ライブビデオコントロールボタン.....	18
1-2-2. ライブビデオコントロール (主な機能) ボタン.....	19
1-2-3. ライブビデオコントロール (その他の機能) ボタン.....	20
2. 録画再生	22
2-1 所定の時間で再生.....	22
2-2 イベントで再生	23
2-3 録画再生コントロールボタン.....	25
2-4 録画映像のダウンロード.....	26
3. 最新イベント再生.....	28
4. システムステータスの表示.....	29
5. ロックと解除	30
5-1 ロック	30
5-2 ロック解除	30
B 設定編.....	31
1. システム設定	31

1-1	管理画面の表示	31
1-2	言語の切り替え	32
1-3	設定メニュー画面の表示	33
1-4	ディスプレイ設定	33
1-5	ネットワークの設定	34
1-6	日時の設定	38
1-7	ストレージの設定	40
1-7-1.	ハードディスクのフォーマット	40
1-7-2.	RAID の構築	41
1-8	ユーザーアカウントの設定	42
1-8-1.	ユーザーアカウントの追加 ・ グループ権限設定	42
1-8-2.	ユーザーアカウントの編集	43
1-8-3.	ユーザーアカウントの削除	44
1-7	UPS 設定	45
2.	カメラ設定	46
2-1	カメラの追加	46
2-1-1.	カメラの登録 (自動検索)	46
2-1-2.	カメラの登録 (手動追加)	51
2-2	カメラの編集	52
2-3	カメラの削除	53
3.	録画設定	54
3-1	録画設定	54
3-2	スケジュール録画設定	56
4.	プリセットポジション設定	57
4-1	プリセットポジションの追加	57
4-2	プリセットポジションの追加 (カメラと同期)	58
4-3	プリセットポジションの名称変更	59
4-4	プリセットポジションの削除	60
4-5	ポジション (ホーム、イベント発生時) 設定	61
4-6	プリセットシーケンス設定	62
5.	OSD (オンスクリーン表示) 設定	64
6.	イベント設定	65
6-1	イベント発生要因設定	65
6-2	E-mail 通知設定	68
6-3	FTP 通知設定	69
6-3-1.	FTP サーバの追加	70

6-3-2. FTP サーバの編集.....	71
6-3-3. FTP サーバの削除.....	72
6-4 イベントアクション設定.....	73
7. マップ設定	75
7-1 マップ設定	76
7-1-1. マップ画像の変更.....	76
7-1-2. マップへカメラの配置.....	77
7-1-3. マップの階層化.....	78
8. デバイス情報表示.....	79
9. ログ表示	80
9-1 ログを出力する	80
9-2 ログを消去する	80
10. メンテナンス	81
10-1 NVR の再起動.....	81
10-2 カメラの再起動.....	81
10-3 工場出荷時の状態に戻す.....	81
10-4 ロゴを変更する.....	81
11. バックアップと復元.....	82
11-1 設定をバックアップする.....	82
11-2 設定を復元する.....	82
12. USB バックアップ.....	83
13. NVR Media Player の操作方法	85
13-1 AVI File を再生.....	85
13-1 NVR Media Player を再生.....	86
14. 製品仕様	88

はじめに

本製品をご購入いただき、ありがとうございます。本ユーザマニュアルでは、本製品の取り扱い、並びに使用方法を説明します。

- (1) 本書に記載されているすべての機能、仕様、特長その他は予告なしに変更されることがあります。
- (2) 記載されているすべてのブランド名および製品名は当社の登録商標です。
- (3) 説明書内の画面イメージが実際と違う部分があります。基本機能は変わりませんのでご了承ください。

[保証の制限]

- (1) いかなる場合も、株式会社システム・ケイ（以下弊社）は直接、間接を問わず製品に対して支払われた価格を超えて責任を負うことはありません。
- (2) 弊社は本製品及び付随するすべてのソフトウェア及びドキュメントの内容や使用に関して明示的または黙示的または法的に保証するものではなく、またその品質、性能、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- (3) 弊社は本製品の顧客へ事前の予告なしに製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改訂または更新する権利を留保します。
- (4) **本マニュアルの記載を守らないことにより生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。**また予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更・修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。
- (5) 弊社は製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。
- (6) 弊社はこのマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的または黙示的な保証を一切致しません。

[注意]

- (1) データの毀損を回避するために、定期的なシステムのバックアップを強く推奨します。弊社はいかなる種類の、データの毀損に関しても責任を負いません。本製品の修理のために返品する場合、電子機器の郵送として不適切な梱包による損傷は保証対象外となります。

(2) [安全に関する警告]

- ① 本製品の動作温度、相対湿度を守って下さい。
- ② 本製品には正しい供給電圧（AC100～200V）を提供する必要があります。
- ③ 本製品を直射日光にさらしたり、化学物質・液体の傍に設置したりしないで下さい。本製品を清掃する場合は、電源コードと接続されているすべてのケーブルを抜いて下さい。
- ④ 化学薬品やエアゾールで本製品をクリーニングしないで下さい。
- ⑤ 本製品の上に物を置かないで下さい。
- ⑥ ハードディスクは停電など、突然電源を断たれると故障する可能性がありますので、UPS（無停電電源装置）の使用を推奨いたします。
- ⑦ 本製品を不安定な物の上に設置しないで下さい。落下した場合、本体を毀損する場合があります。
- ⑧ 本製品を使用する場合、電圧が正しいことを確認して下さい。不明な場合は、管轄の電力会社にお問い合わせ下さい。
- ⑨ 本製品電源コードの上に物を置かないで下さい。断線の原因となります。
- ⑩ いかなる場合でも、本製品を自分で修理することはおやめ下さい。製品を不適切に分解すると、感電その他の危険にさらされます。また製品保証の対象外となります。

(3) 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

NVR ファミリー操作説明書

本製品と付属品一覧

- ・ 本製品



(NVR-6132U)



(NVR-6132T)

- ・ イーサネットケーブル



- ・ 電源コード



- ・ CD-ROM



添付ソフト&マニュアル

- ・ Adobe Acrobat Reader
 - ・ クイックインストールガイド
 - ・ ユーザマニュアル、その他資料
 - ・ 統合管理ソフトウェア
 - ・ NVR サーチ (検出) ソフトウェア
-
- ・ トラブルシューティング
 - ・ NVR かんたん操作ガイド
 - ・ 保証書

本製品のセットアップ

1-1 本製品の起動 (NVR-6132U)

- (1) 本体背面の HDMI ポート①に HDMI ケーブルでディスプレイを繋ぎ、ディスプレイの電源をいれます。
- (2) 本体背面の LAN ポート②にイーサネットケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。
- (3) 電源コードを本体背面の AC ポートに接続します。
- (4) 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- (5) 本体前面の電源ボタン③を押します。約 2 分で NVR が起動します。



背面パネル



前面パネル

※(1)→(2)の手順は必ず守ってください。NVR がネットワークに接続できない原因となります。

1-2 本製品の停止・ハードリセット (NVR-6132U)

<停止>

- (1) NVR が動作中の状態より、本体前面の電源ボタン③を押します。約 30 秒で NVR が停止します。

※ 停電等で本製品が停止した後に電源復旧した場合は、自動で再起動します。

<ハードリセット (工場出荷時に戻す) >

- (1) NVR が起動している状態で、本体背面のリセットボタン④を 10 秒間押し続けます。

※ ハードリセットを行うと、録画データ以外の全ての設定 (IP アドレス、登録カメラ等) がリセットされます。

1-3 本製品の起動 (NVR-6132T)

- (1) 本体背面の HDMI ポート①に HDMI ケーブルでディスプレイを繋ぎ、ディスプレイの電源をいれます。
- (2) 本体背面の LAN ポート②にイーサネットケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。
- (3) 電源コードを本体背面の AC ポートに接続します。
- (4) 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- (5) 本体前面の電源ボタン③を押します。約 2 分で NVR が起動します。



背面パネル



前面パネル

※(1)→(2)の手順は必ず守ってください。NVR がネットワークに接続できない原因となります。

1-4 本製品の停止・ハードリセット (NVR-6132T)

- (1) NVR が動作中の状態より、本体前面の電源ボタン③を押します。約 30 秒で NVR が停止します。

または、ボタン④を使用し前面ディスプレイにて「Shutdown」を選択します。

※ 停電等で本製品が停止した後に電源復旧した場合は、自動で再起動します。

<ハードリセット (工場出荷時に戻す) >

- (1) NVR が起動している状態で、ボタン④を使用し前面ディスプレイにて「Reset to Default」を選択します。

※ ハードリセットを行うと、録画データ以外の全ての設定 (IP アドレス、登録カメラ等) がリセットされます。

1-5 パネル機能 (NVR-6132U)

前面パネル



(拡大図)



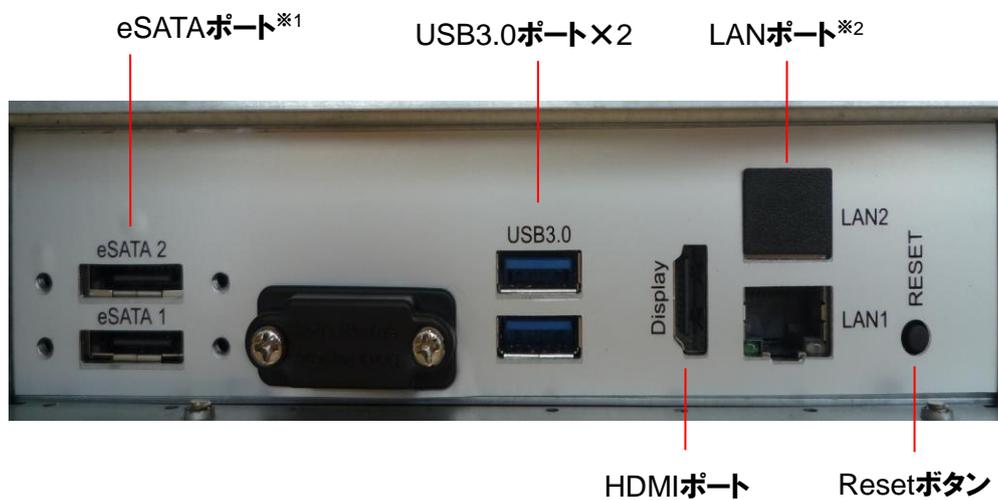
- ①HDD スロット×4 (左から#1、#2、#3、#4)
- ②USB3.0 ポート
- ③Reset ボタン
- ④Status LED
- ⑤Network LED
- ⑥※使用しません
- ⑦Power LED
- ⑧Power ボタン
- ⑨HDD LED
- ⑩HDD status LED

LED	ステータス	説明
Power	ON	点灯:起動中
Network	ON	点滅:100M/1Gbps で接続
Status	ON	*点灯:正常稼働中 *点滅:工場出荷状態に設定中 他の LED は変更されません。 *点滅:ファームウェアアップデート中 ファームウェアアップデートに失敗すると継続して点滅します。
	OFF	*正常起動できない状態
HDD	ON	点灯:HDD 搭載時
HDD status	ON	点滅:HDD 書き込み中又は読み込み中
ボタン		
電源	起動	シャットダウン時に押すと NVR が起動します。
	シャットダウン	起動時に押すと NVR がシャットダウンします。
Reset	工場出荷時に初期化	10 秒間押下すると工場出荷時に初期化します。※1
	再起動	2 秒間押下すると NVR が再起動します。

※1 NVR を工場出荷状態に初期化すると言語設定が英語に変更されます。画面右上の

「 admin」をクリックし、言語を日本語に設定し直して下さい。

背面パネル



※1 eSATA ポートは使用できません。

※2 上部の LAN ポート (LAN2) は使用できません。

※ローカルモニターで音声を聞く際には、HDMI ケーブルでモニターに接続し、モニターの Audio Out 端子から音声を聞いて下さい。

※ローカルモニターで運用時、音声通話 (NVR からカメラへ音声送信) はできません。

1-6 パネル機能 (NVR-6132T)

前面パネル



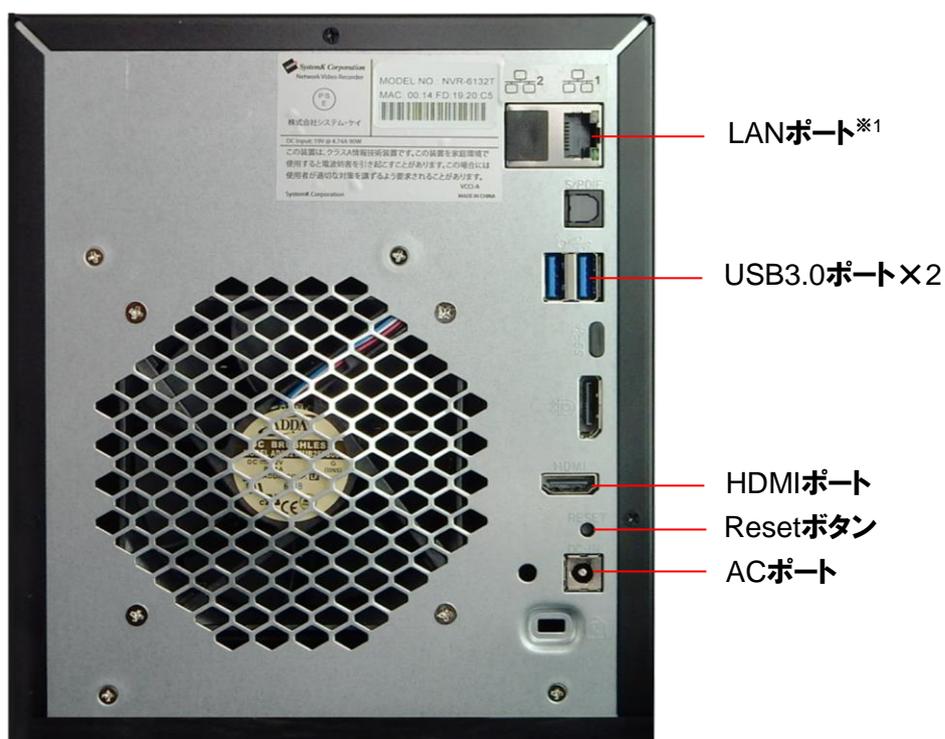
- ①HDD スロット×4 (上から #1、#2、#3、#4)
- ②USB3.0 ポート
- ③Power ボタン
- ④▲ (上) ボタン
- ⑤▼ (下) ボタン
- ⑥← (Enter) ボタン
- ⑦ESC (取消) ボタン
- ⑧Power LED
- ⑨Network LED
- ⑩HDD LED
- ⑪Status LED

LED	ステータス	説明
Power	ON	点灯:起動中
Network	ON	点滅:100M/1Gbps で接続
Status	ON	*点灯:正常稼働中 *点滅:工場出荷状態に設定中 他の LED は変更されません。 *点滅:ファームウェアアップデート中 ファームウェアアップデートに失敗すると継続して点滅します。
	OFF	*正常起動できない状態
HDD	ON	点灯:HDD 搭載時
ボタン		
電源	起動	シャットダウン時に押すと NVR が起動します。
	シャットダウン	起動時に押すと NVR がシャットダウンします。
▲(上)	上を選択	押すと内蔵ディスプレイで上を選択できます。
▼(下)	下を選択	押すと内蔵ディスプレイで下を選択できます。
←(Enter)	決定	押すと操作を決定・実行することができます。
ESC	取消	1.メニューの選択中に押すと IP アドレス表示に戻ります 2.イベントトリガーによるブザーを止めます

※1 NVR を工場出荷状態に初期化すると言語設定が英語に変更されます。画面右上の

「 admin」をクリックし、言語を日本語に設定し直して下さい。

背面パネル



※1 上部の LAN ポート (LAN2) は使用できません。

※ローカルモニターで音声を聞く際には、HDMI ケーブルでモニターに接続し、モニターの Audio Out 端子から音声を聞いて下さい。

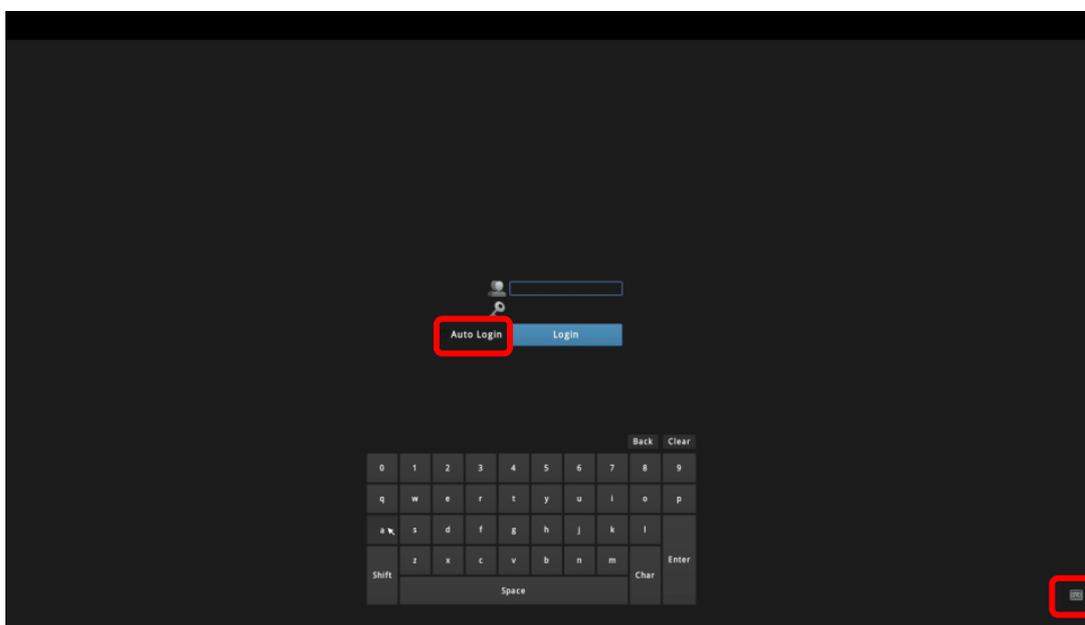
※ローカルモニターで運用時、音声通話 (NVR からカメラへ音声送信) はできません。

1-7 ログイン

起動すると、接続したディスプレイにログイン画面が表示されますのでユーザー名、パスワードを入力してログインします。

※初期設定はユーザー名とパスワード共に「**admin**」です。

「Auto Login」を有効にしてログインすると、次回以降ログイン画面を省略します。画面右下のキーボードアイコンをクリックすると、ソフトウェアキーボードを表示します。



A 操作編

1. ライブ映像の閲覧

1-1 ライブ映像の閲覧方法

1-1-1. ライブ映像の閲覧

- (1) 画面左の「ライブ」をクリックします。
- (2) 画面右のリスト表示から、同時表示するカメラ台数をクリックします。
1 / 4 / 9 / 16 / 25 / 36 台より選択が可能です。



※カメラツリーのアイコン表示

赤色：ライブ表示・録画中

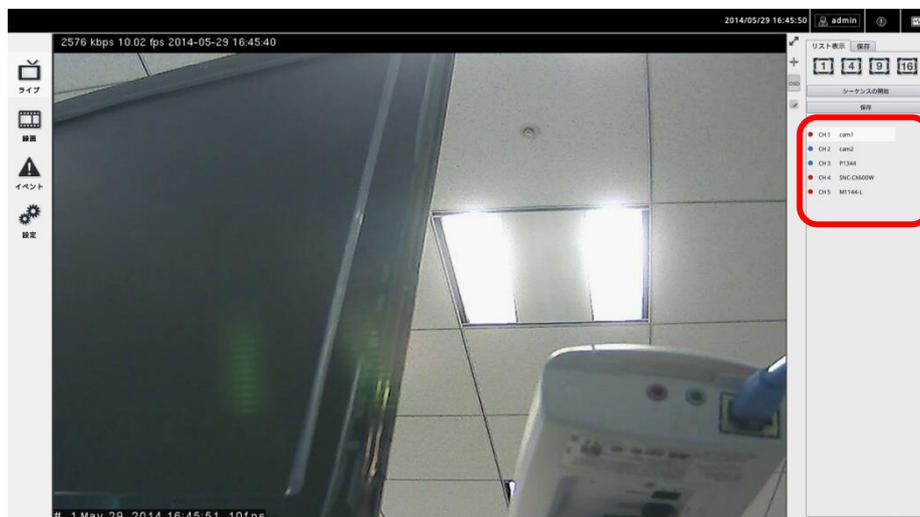
青色：ライブ表示中

灰色：カメラ未接続

(3) 表示するカメラを選択します。

○カメラ 1 台表示の場合

画面右のリスト表示から、表示するカメラをクリックします。



○カメラ 4 台表示以上の場合

「」をクリックし、ドラッグ・ドロップによる映像配置モードにします。

画面右のリスト表示から、表示したいカメラを表示したい位置へドラッグします。

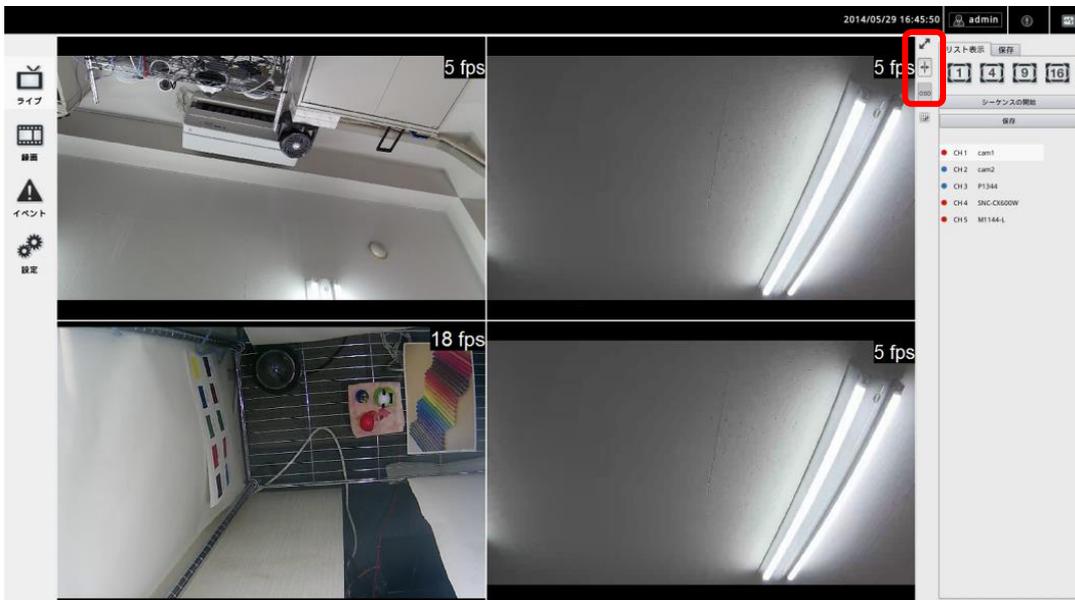
表示中のライブ映像を、右のリストにドラッグすると、ライブ映像の削除が可能です。



※保存

「保存」ボタンをクリックすると、現在表示しているカメラ台数と表示カメラの位置をレイアウトとして保存します。保存したレイアウトは、保存タブで参照することが出来ます。

■ その他 アイコン説明



...画面表示をフルスクリーン表示に切り替えます。

元の画面に戻す時は、画面上でダブルクリックをしてください。



...画面表示の比率を変更します。



...OSD の表示・非表示の切り替えが出来ます。

1-1-2. シーケンス表示 (一定の間隔・順序で画面を切り替えて表示させる機能)

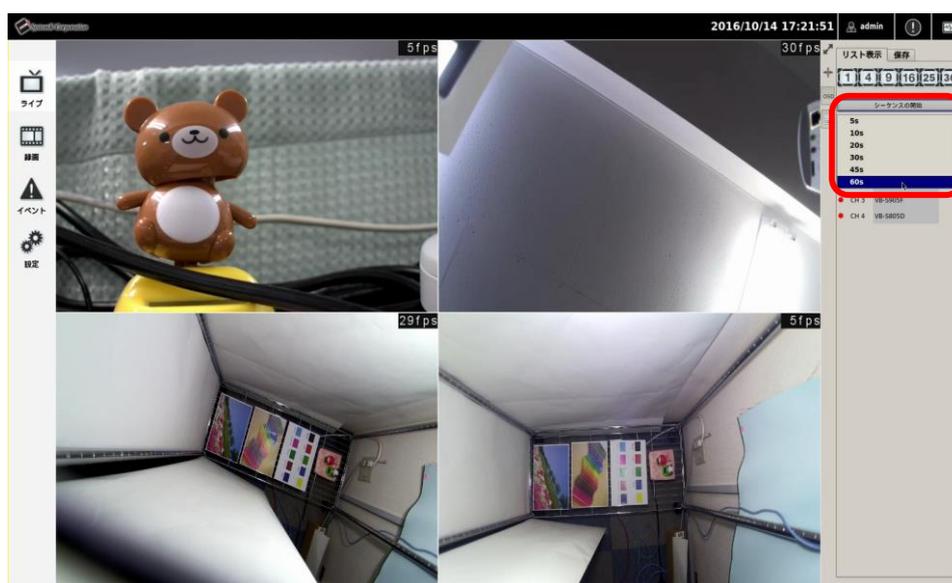
○登録されている全てのカメラをシーケンス表示します。

シーケンスの開始をクリックし、間隔を選択すると、シーケンス表示が開始します。

「停止」ボタンをクリックするとシーケンス表示が停止します。

1/4/9/16 分割でのシーケンス表示が可能です。

※シーケンス表示の間隔は 5 / 10 / 20 / 30 / 45 / 60 秒より選択可能です。

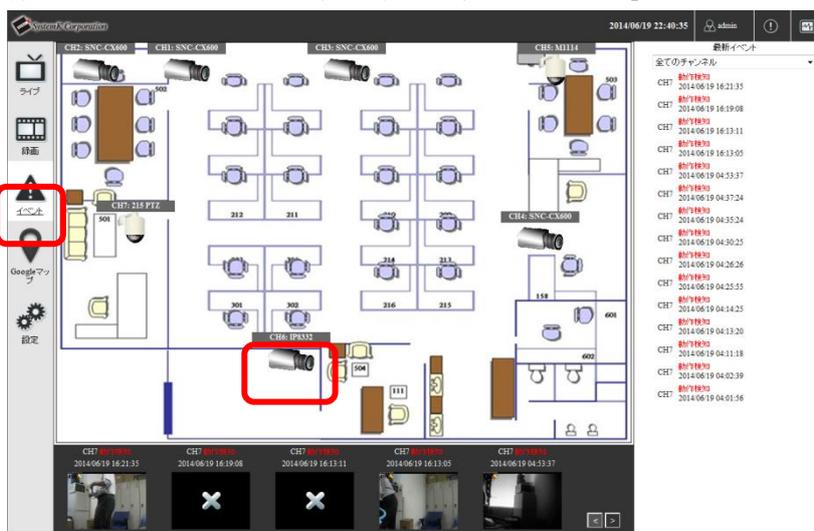


- 登録されているレイアウトをシーケンス表示する。
保存リストを表示します。
シーケンス表示するレイアウトのチェックボックスをクリックし選択状態にします。
シーケンスの開始プルダウンから間隔を選択すると、シーケンス表示が開始します。
「停止」をクリックするとシーケンスが停止します。



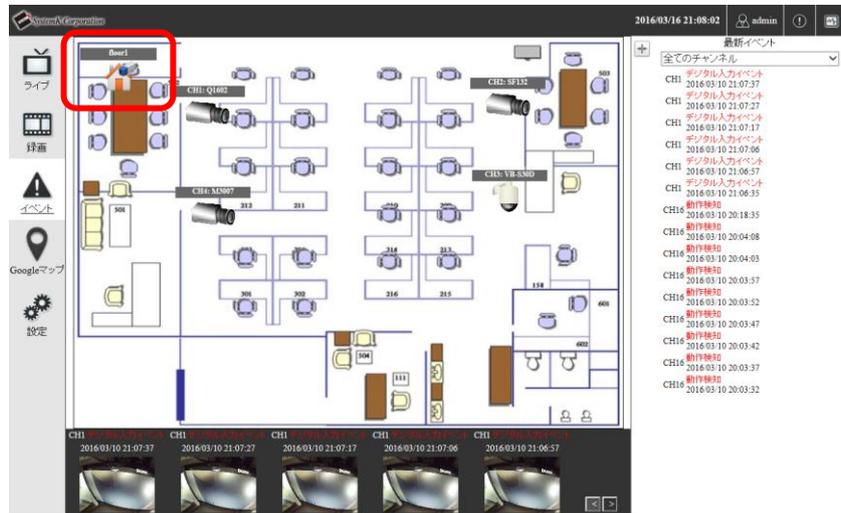
1-1-3. ローカルマップモニタ

- (1) 画面左の「イベント」をクリックします。
ローカルマップが表示されます。
※ローカルマップの設定は、設定メニューの（イベント設定）マップから行います。
- (2) ローカルマップ上のカメラアイコンをクリックすると、クリックしたカメラのライブ映像が表示されます。
ライブ映像からローカルマップに戻る場合は、「マップ表示」ボタンをクリックします。



(3) ローカルマップ上のホームアイコンをダブルクリックすると、1つ下の階層のマップに移動します。

マップ上でダブルクリックすると、1つ上の階層のマップに戻ります。



1-2 ライブ映像の操作

1-2-1. ライブビデオコントロールボタン



(1) スナップショット

ライブ画面上部の  アイコンをクリックするとスナップショット画像がポップアップ表示されます。

スナップショット画像の左上の「保存」ボタンをクリックすると USB メモリにスナップショット画像を保存できます。

※ あらかじめ FAT32 でフォーマット済みの USB メモリを NVR に接続している必要があります。

(2) 音声

ライブ画面上部の  アイコンをクリックすると  アイコンがオン表示に変わり音声を聞くことができます。

※ カメラにマイクが内蔵・接続されている必要があります。

※ モニターの音声出力端子にスピーカーを接続し音声を聞いて下さい。

※ 音声非対応のカメラの場合でも  アイコンはチェック可能ですが、チェックがついていても音声対応はできません。

(3) 手動録画

ライブ画面上部の  アイコンをクリックすると  アイコンがオン状態に変わり手動録画を開始します。もう一度  アイコンをクリックすると停止します。

※ 手動録画中に設定画面等へ遷移した場合、録画が停止しますので注意して下さい。

1-2-2. ライブビデオコントロール (主な機能) ボタン

ライブ画面上部の「」をクリックすると、主な機能ウィンドウが表示されます。



(1) デジタルズーム

主な機能の中の  アイコンをクリックすると、 アイコンがオン表示に変わり、デジタルズームが行えるようになります。

マウスホイールを奥側に転がすと拡大表示、手前側に転がすと縮小表示されます。

(2) スナップショット (1 枚)

主な機能の中の  アイコンをクリックするとスナップショット画像がポップアップ表示されます。

スナップショット画像の左上の「保存」ボタンをクリックすると USB メモリにスナップショット画像を保存できます。

※ あらかじめ FAT32 でフォーマット済みの USB メモリを NVR に接続している必要があります。

(3) スナップショット (3 枚)

主な機能の中の  アイコンをクリックするとスナップショット画像がポップアップ表示されます。

スナップショット画像の左上の「次へ」ボタンをクリックすると次の画像が表示されません。

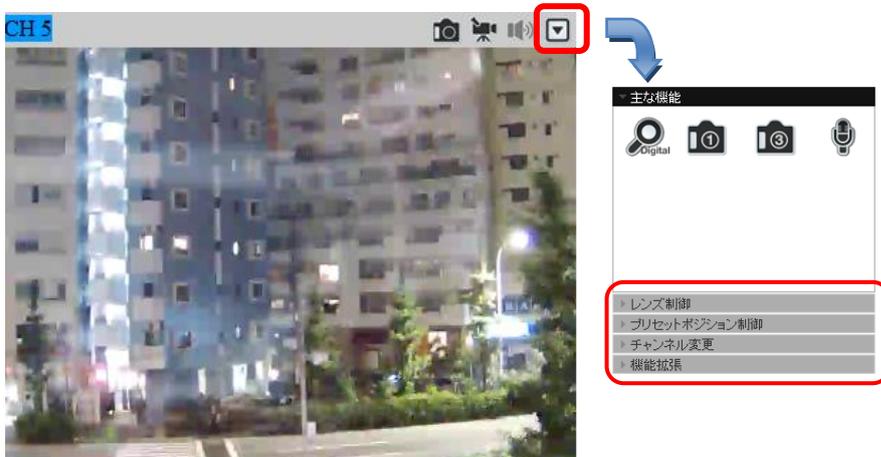
スナップショット画像の左上の「保存」ボタンをクリックすると USB メモリにスナップショット画像を保存できます。

※ あらかじめ FAT32 でフォーマット済みの USB メモリを NVR に接続している必要があります。

(4) 通話

※ モニター直結時この機能は使用できません。

1-2-3. ライブビデオコントロール (その他の機能) ボタン



(1) レンズ制御

フォーカス (焦点距離)、アイリス (絞り) を調整します。

※ フォーカス・アイリスの調整が可能なカメラのみ使用できます。

フォーカス

[近] : 近くにピント調整

[遠] : 遠くにピント調整

[自動] : ピントの自動調整

アイリス

[開] : 絞りを開ける (明るくなる)

[閉] : 絞りを閉じる (暗くなる)

[自動] : 絞りの自動調整

(2) プリセットポジション制御

※ カメラが PTZ 対応カメラの場合のみ設定可能です。

※ PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ (非対応機種有り) も含みます。

○現在位置の追加

プリセットポジションへ登録したい位置へポジションを移動し、「現在位置の追加」ボタンを押下します。表示されているポジションが登録されます。

※登録したポジションを変更する場合は、設定メニューの (ビデオと録画設定) プリセットポジションから行います。

○移動

登録済みのプリセットポジションを選択し移動します。

○プリセットポジションのシーケンス

予め登録されたプリセットポジションのシーケンスに従って、プリセットポジションを指定された間隔で自動で切り替えて表示します。

開始ボタンをクリックすると、プリセットポジションのシーケンスが開始し、停止ボタンをクリックすると、プリセットポジションのシーケンスが停止します。

※プリセットポジションのシーケンスの登録は、設定メニューの(ビデオと録画設定)プリセットポジションから行います。

○オートパン制御

「」、「」をクリックするとクリックしたボタンの方向へ自動旋回します。

「」をクリックすると旋回が停止します。

「」をクリックすると自動で左右に旋回します。左右に自動旋回する角度の範囲はカメラに依存します。

※カメラがオートパンに対応している必要があります。

(3) チャンネル変更

プルダウンから映像を表示するカメラを選択し、表示するカメラを変更します。

(4) ストリーム選択

プルダウンから映像を表示するストリームを選択し、表示するストリームを変更します。

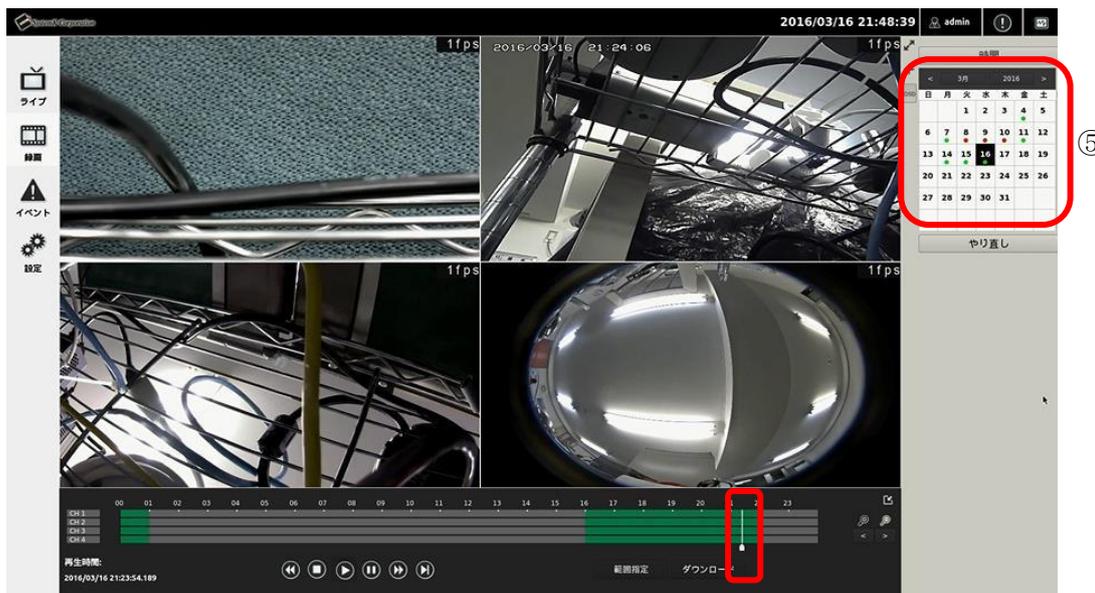
※事前にマルチストリーム設定をしている必要があります。

2. 録画再生

2-1 所定の時間で再生

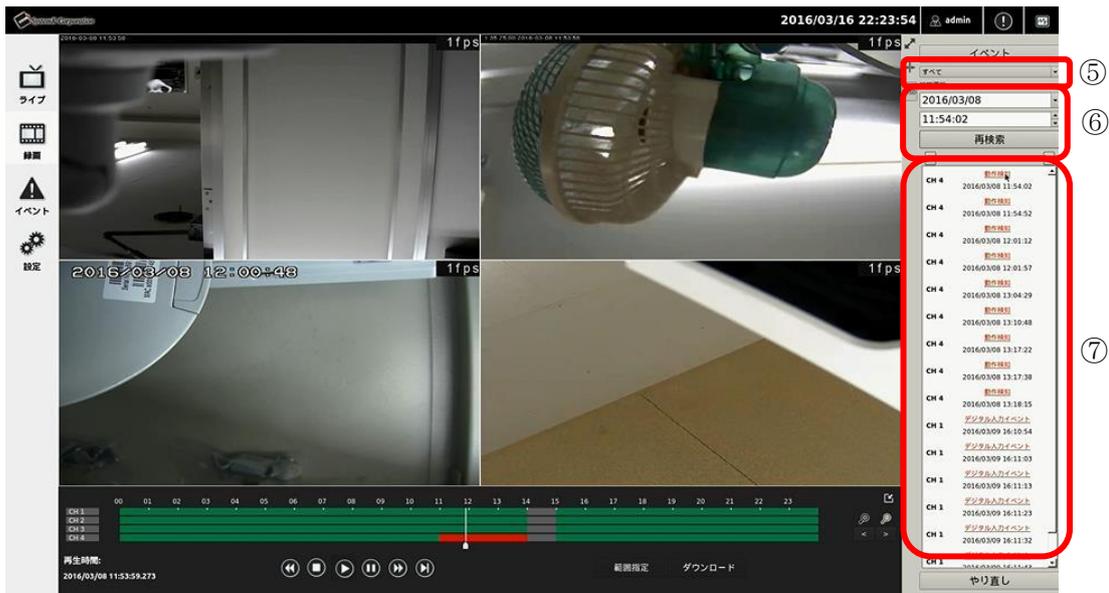
- (1) 画面左の「録画」をクリックします。(①)
- (2) 録画検索のプルダウンから「時間」を選択します。(②)
- (3) 表示するカメラをクリックし選択状態にします。(③)
 選択すると背景色が薄い灰色から濃い灰色になります。
 (同時に4台のカメラまで選択できます。)
- (4) 「進む」をクリックします。(④)
- (5) 録画検索のプルダウンの下にカレンダーが表示されます。
 録画映像が保存されている日付には、■ (または■) が表示されています。
 ※■はイベントが保存されている または 映像に欠落がある 日付です。
- (6) カレンダー上で、録画映像を参照したい日付をクリックします。(⑤)
 録画映像の再生コントロールボタンが画面下部に表示されます。
- (7) タイムチャートの左側の白いバーを再生したい位置に移動します。(⑥)
- (8) 録画映像の再生が開始されます。





2-2 イベントで再生

- (1) 画面左の「録画」をクリックします。(①)
- (2) 録画検索のプルダウンから「イベント」を選択します。(②)
- (3) 表示するカメラをクリックし選択状態にします。(③)
 選択すると背景色が薄い灰色から濃い灰色になります。
 (同時に 16 台のカメラまで選択できます。)
- (4) 録画検索のプルダウンから「イベント」を選択します。(④)
- (5) プルダウンから検索したいイベントの種類を選択します。(すべて、動体検知、デジタル入力イベント、CMS イベント) (⑤)
- (6) イベントを検索したい日付、時間を入力し、「再検索」ボタンをクリックします。(⑥)
 イベントが一覧表示されます。
 一覧には 15 件ずつイベントが表示されます。「←」「→」をクリックしページを遷移します。
- (7) イベント一覧から録画映像を再生したいイベントをクリックします。(⑦)
 録画映像の再生が開始されます。
 ※選択したイベントの 10 秒前の録画映像から再生されます。



※イベントが検知されている時間帯 または 映像に欠落がある時間帯 は帯が赤く表示されます。

2-3 録画再生コントロールボタン



(1) 再生

「▶」をクリックすると、録画映像を再生します。

(2) 停止

「■」をクリックすると、録画映像を停止します。

(3) 一時停止

「⏸」をクリックすると、録画映像を一時停止します。

(4) 巻き戻し

「◀」をクリックすると、録画映像を巻き戻します。

1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速、5回クリックすると32倍速で巻き戻します。

(5) 早送り

「▶」をクリックすると、録画映像を早送りします。

1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速、5回クリックすると32倍速で早送りします。

(6) フレーム移動

「▶」をクリックすると、録画映像を次のフレームへ移動します。

(7) タイムラインを隠す

「📺」をクリックすると、タイムラインを非表示にし、録画映像表示欄を広げます。

タイムラインを再表示する場合は、「📺」をクリックします。

(8) タイムラインを拡大する

「🔍」をクリックすると、タイムラインを拡大します。

1回クリックするとタイムラインは24時間表示から1時間表示に、2回クリックすると2分表示に切り替わります。

(9) タイムラインを縮小する

「🔍」をクリックすると、タイムラインを縮小します。

(10) 前の時間帯を表示する

「<」をクリックすると、タイムラインを1つ前の時間帯に移動します。

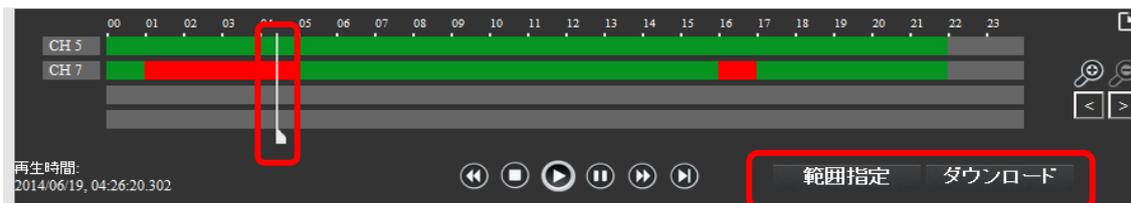
(11) 後の時間帯を表示する

「>」をクリックすると、タイムラインを1つ後の時間帯に移動します。

(12) タイムライン内の時間帯を移動する

 をドラッグし再生位置を移動します。

2-4 録画映像のダウンロード



(1) 範囲指定

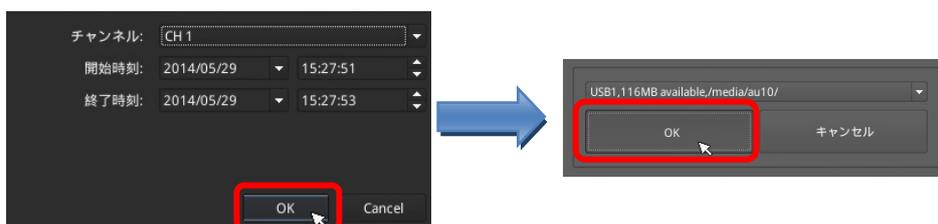
 をドラッグし開始位置へ移動し、「範囲指定」ボタンをクリックします。開始位置が青のラインで表示されます。

 をドラッグし終了位置へ移動し、「範囲指定」ボタンをクリックします。終了位置が青のラインで表示されます。範囲指定が完了すると、「範囲指定」ボタンが「クリア」ボタンに変わります。

範囲を指定し直す場合は、「クリア」ボタンをクリックすると範囲指定がクリアされます。

(2) ダウンロード

「ダウンロード」ボタンをクリックすると、指定した範囲が表示された状態でダウンロード画面が表示されます。



出力条件を設定し「OK」ボタンをクリックします。

出力先 USB メモリを選択し、「OK」をクリックします。

出力が完了すると完了メッセージが表示され、指定した USB メモリに録画映像がダウンロードされます。

※あらかじめ FAT32 でフォーマットした USB メモリを NVR 本体に接続している必要があります。

※出力されるファイル名は下記の通りとなります。

[MAC Address]_ExecuteTime_BackupBeginTime_BackupEndTime-CH[NUM]-
FileFirstFrameTime.avi

NOTE : File First Frame Time は UTC 基準です。

※出力されたファイルは添付 CD に付属している NVR Media Player で再生して下さい。

※NVR Media Player は統合ソフトをインストールすると同時にインストールされます。

3. 最新イベント再生

- (1) 画面左の「イベント」をクリックします。(①)
- (2) 最新イベントを表示するチャンネル (カメラ) をプルダウンから選択します。(②)
最新のイベントが 15 件一覧表示されます。(③)
最新のイベントが 5 件サムネイル表示されます。(④)
- (3) イベント一覧から録画映像を再生したいイベントをクリックします。(③)
または、画面下部のサムネイルから録画映像を再生したいイベントをクリックします。(④)
録画映像の再生が開始されます。



4. システムステータスの表示

メイン画面右上部の「」をクリックすると、チャンネルステータス画面が表示されます。本画面では、登録されている全カメラのステータス・動作状況を確認することができます。メイン画面に戻るには、画面右上部の「」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

チャンネル	名前	IPアドレス	HTTPポート	連続録画	スケジュール録画	イベント録画	手動録画	ストリーム1	ストリーム2
1	cam1	172.31.0.186	80	○				MPEG4@30FPS 10fps, 25400kbps H.264@30FPS	-----
2	cam2	172.31.0.156	80					10fps, 3000kbps	-----
3	P1344	172.31.5.135	80					MPEG4@1024x768 5fps, 23700kbps	-----
4	SNC-CM00W	172.31.5.138	80	○				MPEG4@1280x720 5fps, 33110kbps	-----
5	M1444	172.31.5.155	80	○				MPEG4@1280x800 10fps, 121900kbps	-----

[チャンネルステータスの概要]

項目	表示内容
チャンネルステータス	● ライブ表示と録画動作中
	● ライブ表示のみ作動中
	● カメラとの接続停止状態
チャンネル	カメラチャンネル番号
名前	カメラ設定名の表示(初期設定は機種名表示)
IP アドレス	カメラ IP アドレスの表示
HTTP ポート	カメラポート番号
連続録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
スケジュール録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
イベント録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
手動録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
ストリーム 1(ライブ)	圧縮方式(画像フォーマット(MJPEG,MPEG4,H.264))の表示
／ストリーム 2(録画)	画像解像度の表示
※ライブと録画が同じ設定の場合、スト	フレームレート(1 秒間のコマ数)の表示
リーム 2 は表示されません。	ビットレート(1 秒間のデータ転送レート)の表示

5. ロックと解除

5-1 ロック

メイン画面右上部の「」をクリックすると、メニューが表示されます。

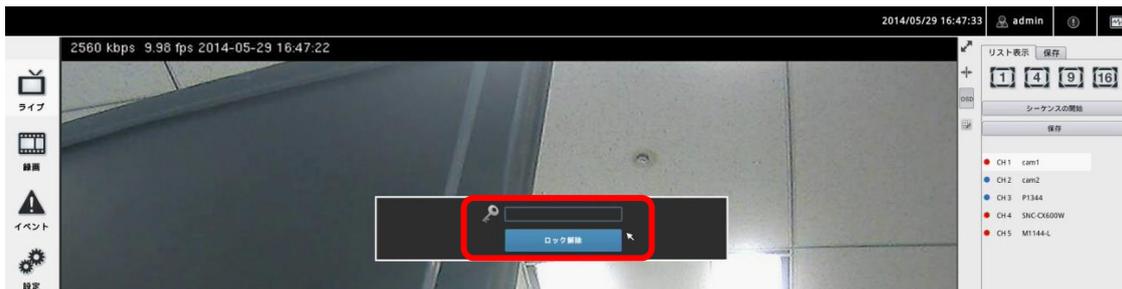
「ロック」ボタンをクリックすると画面がロックされ操作が出来なくなります。

チャンネル	名前	IPアドレス	HTTPポート	接続 状態	スケジュール 録画	イベント 録画	手動 録画	ストリーム 1	ストリーム 2
1	cam1	172.31.0.186	80	V				MPEG@80x600 10fps,2532Kbps	-----
2	cam2	172.31.5.156	80	V				H264@640x360 11fps,198Kbps	-----
3	P1344	172.31.5.135	80					MPEG@1280x720 5fps,3071Kbps	-----
4	SNC-CX600W	172.31.5.128	80	V				MPEG@1280x720 5fps,3783Kbps	-----
5	M1144-L	172.31.5.155	80	V				MPEG@1280x800 1fps,1014Kbps	-----

5-2 ロック解除

パスワードを入力し、「ロック解除」ボタンをクリックします。

ロックが解除され画面操作が可能になります。



B 設定編

※本製品でシステム設定変更を実施し完了メッセージが表示されても、設定変更画面が再表示されるまで他の動作に移らないで下さい。設定変更が無効になります。

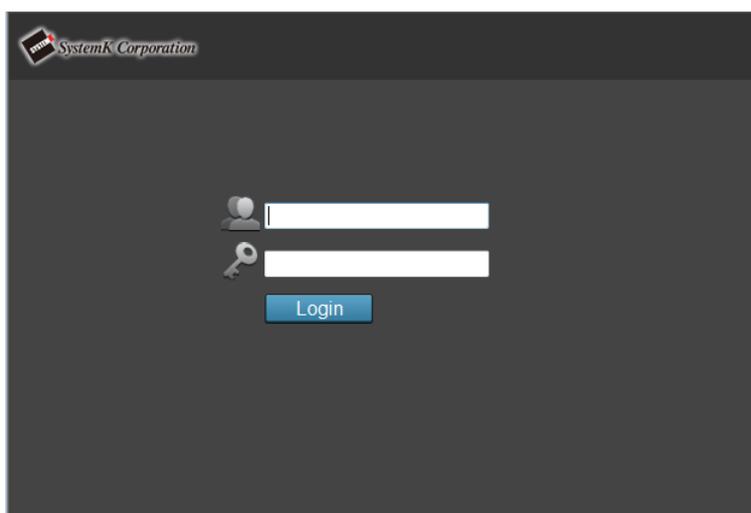
1. システム設定

1-1 管理画面の表示

- (1) NVR にモニターを接続し、NVR を起動します。
- (2) 下記ログイン画面にユーザー名とパスワードを入力します。

※初期設定はユーザー名とパスワード共に「**admin**」です。

※ユーザー名とパスワードの設定については「1-8 ユーザーアカウントの設定」を参照して下さい。

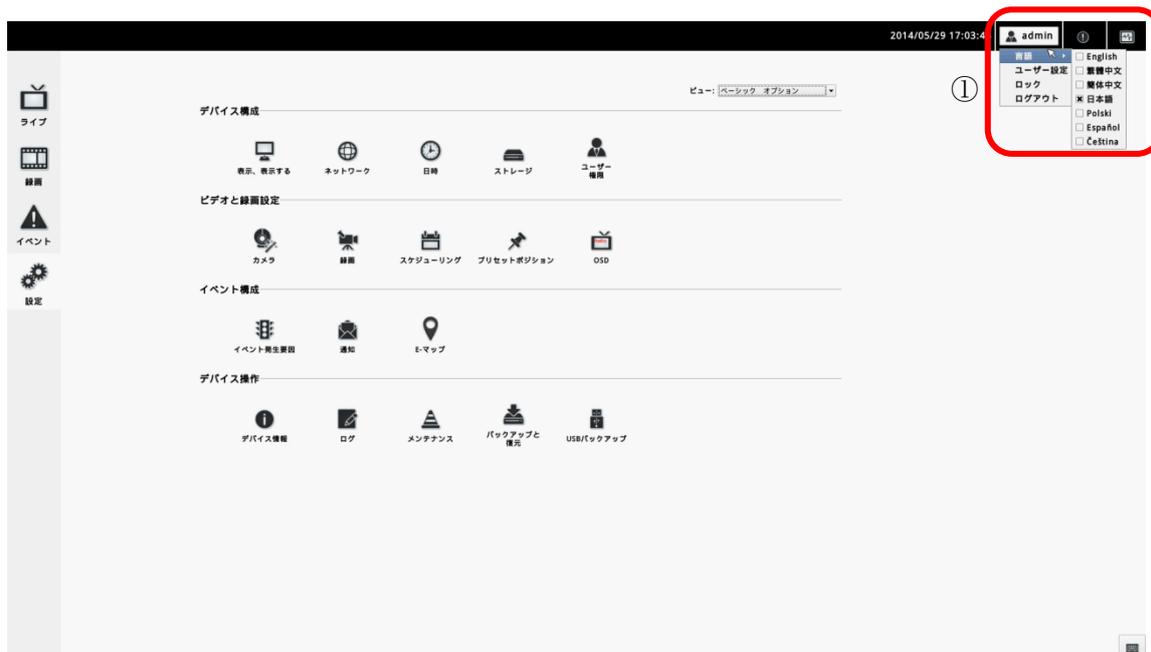


1-2 言語の切り替え

本製品の表示言語を切り替えます。

- (1) 画面右上①の「admin」をクリックします。
- (2) 設定メニュー表示が表示されますので、言語プルダウンで「日本語」を選択します。
- (3) 画面が日本語に切り替わります。

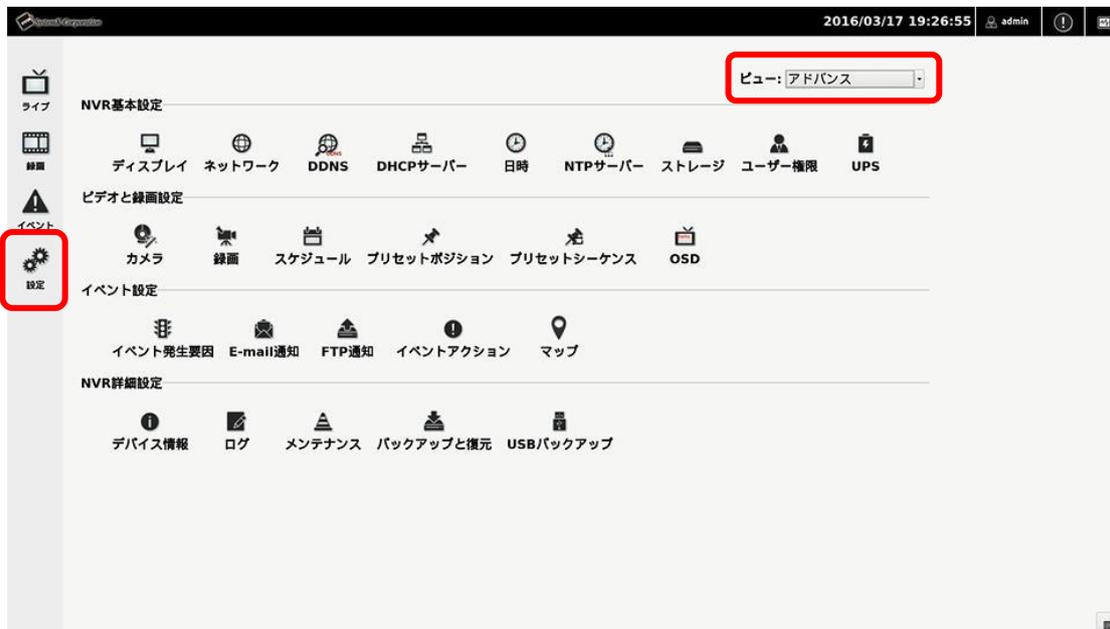
※選択されている言語により、画面表示（項目名等）は変わります。下記画面は、日本語の画面です。



1-3 設定メニュー画面の表示

画面左の「設定」をクリックします。

設定メニュー画面が表示されます。



※ビューモードは「ベーシック」と「アドバンス」から選択できます。

「ベーシック」: 基本的な設定項目のみ表示します。

「アドバンス」: 全ての設定項目を表示します。

画像は「アドバンス」モードでの表示画面です。

1-4 ディスプレイ設定

(1) ディスプレイ設定画面の表示

設定メニュー画面の (NVR 基本設定) 「ディスプレイ」をクリックします。

ディスプレイ設定画面が表示されます。

(2) プルダウンから出力可能な解像度 (1920×1080 (50Hz) 等) が選択できます。

解像度の選択肢は、接続したディスプレイによって異なります。

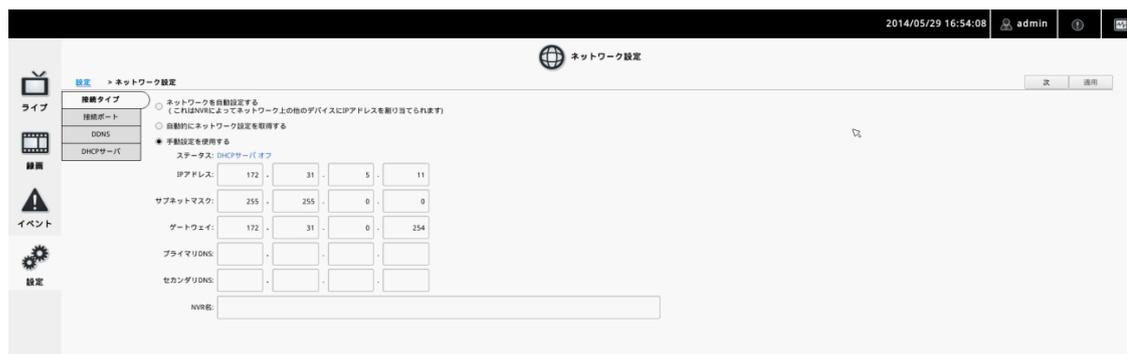
(3) 「適用」 ボタンをクリックし設定内容を保存します。

1-5 ネットワークの設定

(1) ネットワーク設定画面の表示

設定メニュー画面の（デバイス構成）「ネットワーク」をクリックします。
ネットワーク設定画面が表示されます。

(2) ネットワーク設定－接続タイプ設定



接続タイプ（オートモード、自動的にネットワークを設定するまたは手動設定を使用する）を選択します。[手動設定を使用する]を選択した場合は、手動で本製品に割り当ての IP アドレスを入力します。

NVR 名には任意の名称を入力します。未入力でも構いません。

- ・オートモード

DHCP 環境内にある場合は割り振られた IP アドレスを自動的に設定します。NVR が DHCP 環境内に無い場合は、IP アドレスが 192.168.101.50 になり、NVR が DHCP サーバとなって同環境の機器に IP アドレスを割り振ります。

停電復帰後など、意図せず NVR が DHCP サーバになることがありますので、ご注意ください。

- ・自動的にネットワークを設定する

DHCP により割り振られた IP アドレスを自動的に設定します。

DHCP サーバ機能は使用出来ませんのでご注意ください。

- ・手動設定を使用する

手動で IP アドレス・サブネット・ゲートウェイなどの情報を設定します。

※IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイは必須項目です。必須項目の入力が不足している場合、設定が行えません。ゲートウェイのアドレスが不明の場合は、本製品の IP アドレスを入力して下さい。

「次」ボタンをクリックし、接続ポート設定画面へ遷移します。

(3) ネットワーク設定－接続ポート設定



HTTP ポート、ストリーミングポート、UPnP ポート開放を設定します。

HTTP ポート、ストリーミングポートは特に変更の必要が無ければ初期設定のままにします。

※ストリーミングポート指定されたポートがネットワーク、または PC で許可されていない場合、ライブ表示や録画再生で「接続中」と表示され、映像は表示されません。

※インターネット経由で本製品にアクセスする場合は、ルータ等に HTTP ポート並びにストリーミングポートを転送（ポートマッピング）する設定が必要です。

※ポートマッピングは IP マスカレード、静的マスカレード、バーチャルサーバとも称します。

「次」 ボタンをクリックし、DDNS 設定画面へ遷移します。

(4) ネットワーク設定－DDNS 設定

※DDNS サービスを使用しない場合は、本設定は不要です。「次」ボタンをクリックし DHCP サーバ設定画面へ遷移して下さい。

※本機能を使用するためには事前に DynDns.com サイト または no-IP サイトから DDNS ドメイン名を取得する必要があります。尚、DynDns.com サイト または no-IP サイトでのドメイン取得についてはサポート致しておりません。



「DDNS サービスを有効にする」をチェックします。

DDNS ドメイン名及びユーザー名・パスワードを入力します。

「DDNS ステータスの確認」をクリックして設定が正しいか確認します。

※NVR から 1 時間毎に現在の IP アドレス情報を確認し、変更されている場合は DynDNS、no-IP に通知します。

※尚、IP アドレスが DNS サーバに浸透するまで時に 30 分以上のタイムラグが生ずることがあります。

※本ページの設定のみでは NVR の外部公開を行うことはできません。ご注意ください。

「次」ボタンをクリックし DHCP サーバ設定画面へ遷移します。

(5) ネットワーク設定－DHCP サーバ設定



DHCP サーバ機能を使用する場合、[DHCP サーバ]の「オン」を選択します。
本製品の DHCP サーバ機能により IP アドレスが付与されたクライアント（カメラ等）
が表示されます。

※通常、DHCP サーバはオフを選択します。

「適用」 ボタンをクリックし設定内容を保存します。

1-6 日時の設定

(1) 日時の設定画面の表示

設定メニュー画面の（デバイス構成）「日時」をクリックします。
日時設定画面が表示されます。

(2) 日時設定



タイムゾーン

GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul) を選択します。

時刻設定

「NTP サーバと同期」、「マニュアル設定」のどちらかを選択します。

「NTP サーバと同期」を選択した場合

「NTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名」の入力と「アップデート間隔」を指定します。

※初期設定のまま構いません。尚、NTP サーバをドメインで登録した場合は、NVR のネットワーク設定で少なくともプライマリ DNS の設定が必要です。※

「1-5 ネットワークの設定」参照

「次」ボタンをクリックし NTP サーバ設定画面へ遷移します。

(3) NTP サーバ設定



NVR の NTP サーバ機能を有効にすると、他のデバイス（カメラ、PC、他 NVR）の時刻を NVR と同期することができます。

許可するクライアントで「すべて」、「このデバイスと同じネットワーク上のクライアント」のいずれかを選択します。

「すべて」: NVR と同じネットワーク上、および、別ネットワークにあるクライアントから NVR に時刻同期が出来ます。

この場合、ファイアウォール/ルータ/ゲートウェイの UDP ポート 123 を開放して下さい。

「このデバイスと同じネットワーク上のクライアント」: NVR と同じネットワーク上にあるクライアントのみから NVR に時刻同期が出来ます。

「適用」 ボタンをクリックし設定内容を保存します。

1-7 ストレージの設定

設定メニュー画面の（デバイス構成）「ストレージ」をクリックします。

ストレージ設定画面が表示されます。

ディスク一覧に、現在組み込まれているハードディスクが一覧表示されます。

1-7-1. ハードディスクのフォーマット

新しいハードディスクを本製品に組み込んだ場合、最初にフォーマットをする必要があります。フォーマットされていないハードディスクはディスク一覧上で「ディスク・ステータス」に「オフライン」と表示されます。



(1) フォーマットをする HDD の右側の「フォーマット」をクリックします。(①)

(2) 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

完了の表示がされるまで暫くお待ち下さい。フォーマットが完了すると「ステータス」に「オンライン」と表示されます。

フォーマット完了まで多少時間がかかります。完了表示が表示されるまでそのままの状態を暫くお待ち下さい。

※ハードディスクのフォーマット中は、決して電源を切らないで下さい。

※フォーマット後のディスク容量表示は初期表示容量より 10 数パーセント程度、減少します。この部分はシステム側で使用されています。

1-7-2. RAID の構築

- (1) 「ディスク動作」のプルダウンから任意の RAID を選択します。(②)
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。(③)

RAID の構築が完了するまで多少時間がかかります。

※RAID の構築中は、決して電源を切らないでください。

※本製品は eSATA には対応していません。

※「USB ディスクの一覧」には本製品に接続されている USB ストレージが表示されます。

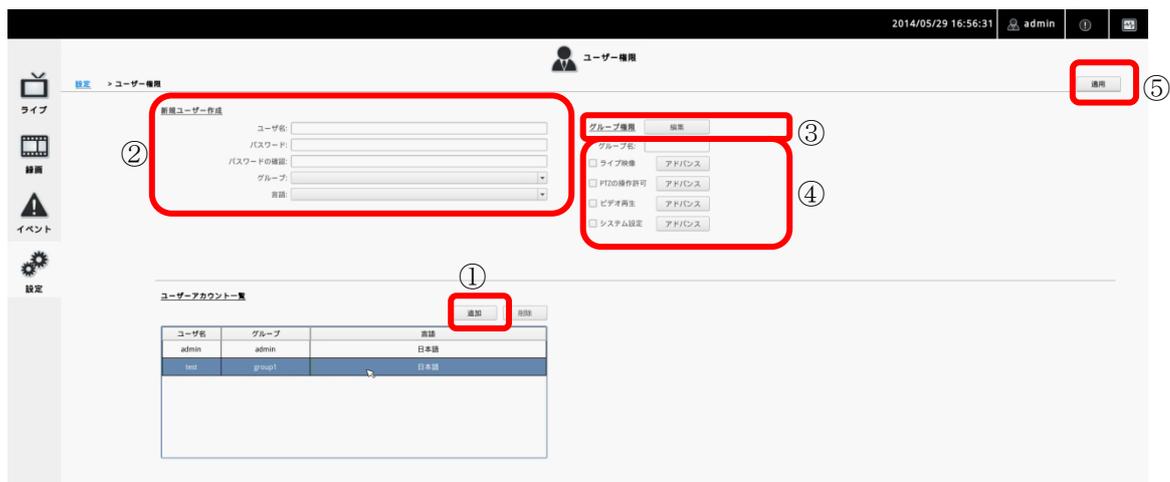
1-8 ユーザーアカウントの設定

設定メニュー画面の（デバイス構成）「ユーザー権限」をクリックします。
ユーザー権限設定画面が表示されます。

1-8-1. ユーザーアカウントの追加・グループ権限設定

本製品にアクセスするユーザーを登録します。

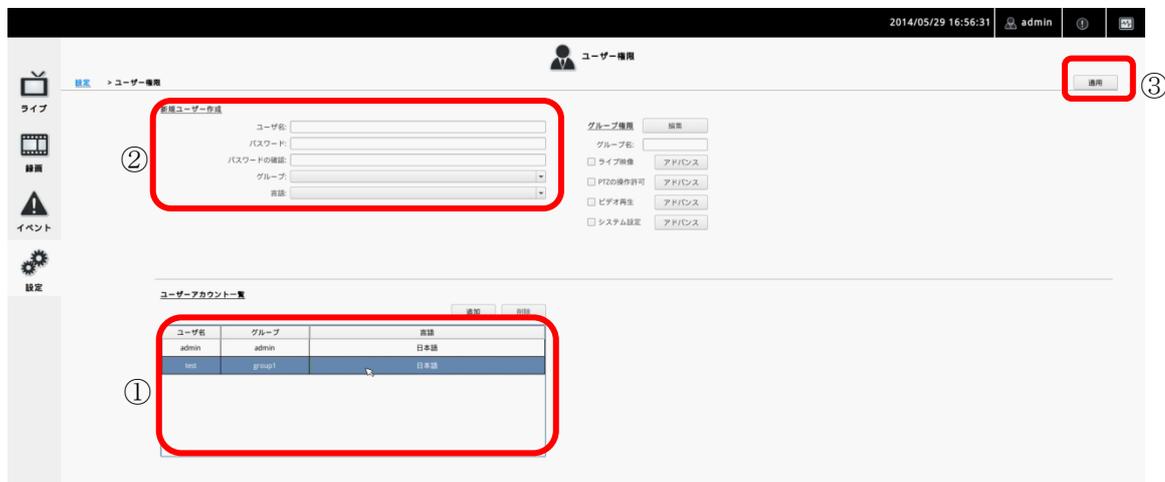
グループ権限は、新規追加時にのみ設定を変更出来ますので合わせて設定を行います。



- (1) 「追加」ボタンをクリックします。(①)
新規ユーザー作成が入力可能になります。
- (2) 新規ユーザー作成を全て入力します。(②)
※ユーザーグループは、「group1」～「group5」、「guest」から選択します。
- (3) グループ権限を設定します。
グループの名称、権限を編集する場合は、グループ権限の「編集」ボタンをクリックします。(③)
グループ権限が入力可能になります。
グループ名、各権限を入力します。入力項目横の「アドバンス」ボタンをクリックすると、チャンネル（カメラ）別の権限設定、設定項目別の権限設定等、詳細に設定を行うことが出来ます。(④)
- (4) 「適用」ボタンをクリックします。(⑤)
ユーザーアカウントが追加されます。

1-8-2. ユーザーアカウントの編集

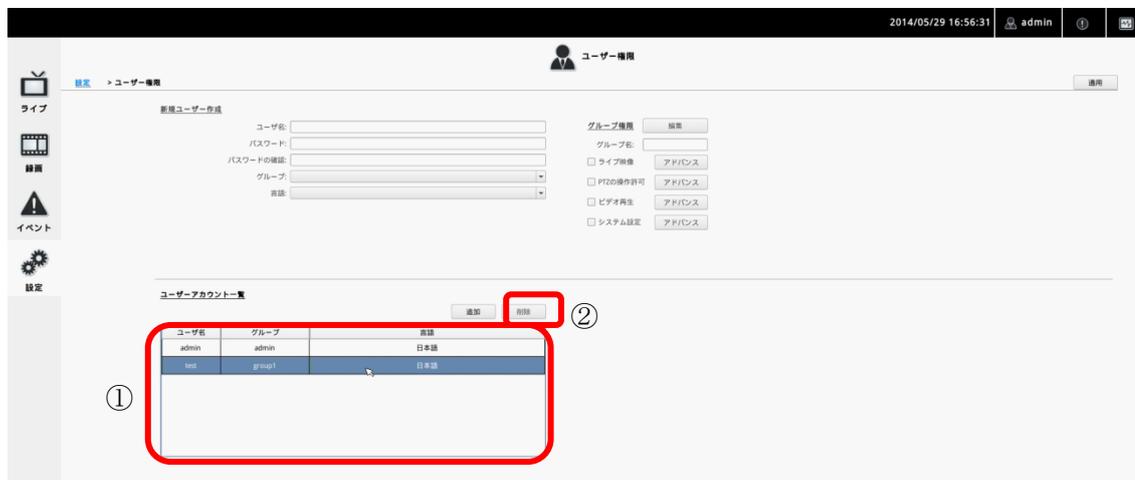
登録されているユーザーを編集します。



- (1) ユーザーアカウント一覧から、編集したいユーザーをクリックします。(①)
ユーザーが選択状態（背面が青色に変わります）になり、新規ユーザー作成の入力欄に選択したユーザーの情報が表示されます。
- (2) 新規ユーザー作成欄の入力項目を編集します。(②)
※ユーザー名「admin」を選択した場合は、パスワードと言語のみ編集が可能です。その他の項目は変更出来ません。
- (3) 「適用」ボタンをクリックします。(③)
ユーザーアカウントが更新されます。

1-8-3. ユーザーアカウントの削除

登録されているユーザーアカウントを削除します。



- (1) ユーザーアカウント一覧から、削除したいユーザーをクリックします。(①)
ユーザーが選択状態（背面が青色に変わります）になり、新規ユーザー作成の入力欄に選択したユーザーの情報が表示されます。
※ユーザー名「admin」は削除できませんので、「admin」を選択した場合、「削除」ボタンは使用出来ない状態になります。
- (2) 「削除」ボタンをクリックします。(②)
確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。
ユーザーアカウントが削除されます。

1-7 UPS 設定

対応する UPS デバイスを USB 接続することで、電源障害時にデータ損失を防ぐことが出来ます。

電源障害発生時に、デバイスを自動的にシャットダウンする時間を設定することが出来ます。



- (1) NVR をシャットダウンしている状態で NVR と UPS を USB ケーブルで接続します。
- (2) NVR の電源ケーブルを UPS に接続します。
- (3) NVR の電源を入れます。
- (4) NVR の UPS 設定画面を表示します。

青文字で「UPS が接続されています」と表示され、接続されている UPS デバイス情報が表示されていることを確認します。(①)

- (5) 「UPS のサポートを有効にする」にチェックを入れます。(②)
- (6) 電源障害時のシャットダウン時間をプルダウンから選択します。(③)

電源障害時のシャットダウン時間は以下より選択できます。

「すぐに、30 秒、60 秒、3 分、5 分、10 分、15 分、20 分、25 分、30 分」

- (7) 「適用」ボタンをクリックします。(④)

2. カメラ設定

2-1 カメラの追加

設定メニュー画面の（ビデオと録画設定）「カメラ」をクリックします。

カメラ設定画面が表示されます。

ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されているカメラの登録は、「2-1-1 カメラの登録（自動検索）」を参照して下さい。

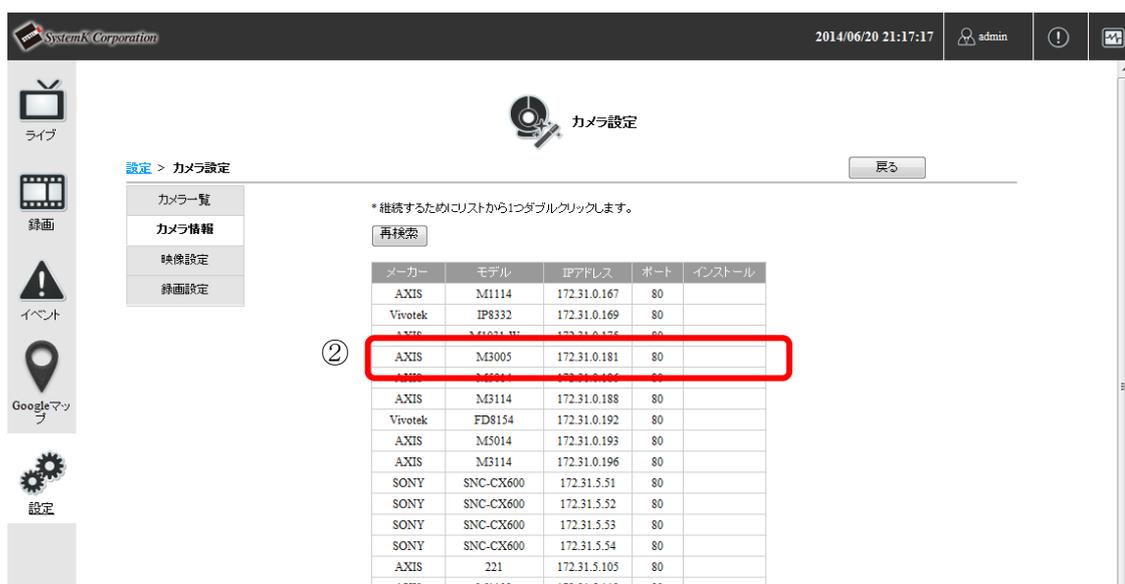
外部のネットワーク（インターネット）に設置されているカメラの登録は、「2-1-2 カメラの登録（手動追加）」を参照して下さい。

2-1-1. カメラの登録（自動検索）

- 「自動検索」ボタンをクリックして、ネットワーク（LAN）に接続されているカメラを検索します。（①）



- 検索されたカメラのリストが表示されますので、リストから登録するカメラをダブルクリックします。（②）



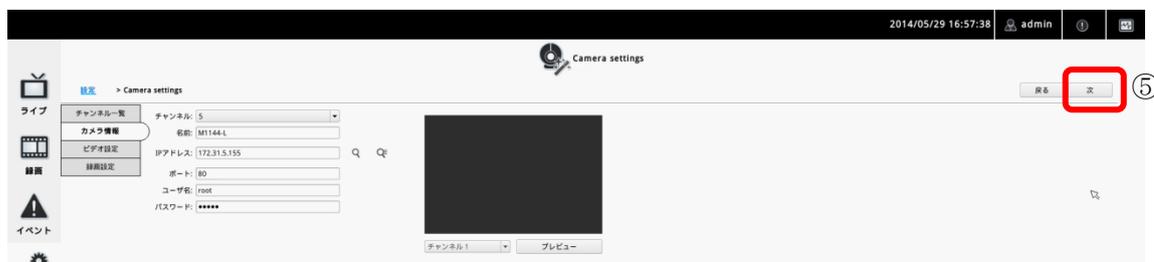
- (3) ダブルクリックしたカメラの情報が表示されます。

チャンネル、名前、カメラに設定されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力し「プレビュー」ボタンをクリックします。(③、④)



- (4) カメラのプレビュー映像が表示されます。

「次」ボタンをクリックします。(⑤)



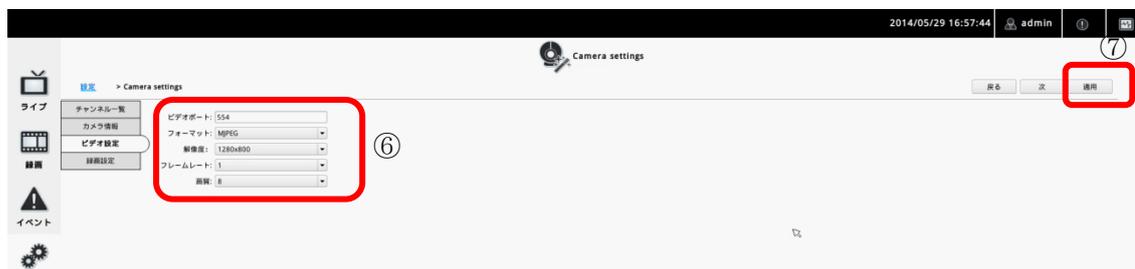
- (5) 映像設定画面が表示されます。

カメラの解像度・フレームレート設定は、カメラの機種毎で選択可能項目が異なります。カメラの設定情報は、カメラの機種や選択したフォーマット毎で異なります。ビデオポートはカメラに依存します（非対応のカメラがあります）。

○圧縮形式：MJPEG の場合

圧縮形式、解像度、フレームレート、画質を選択し「次」ボタンをクリックします。

(⑥、⑦)



※品質選択の数字と品質の対応は機種毎に異なります。メイン表示画面にて表示される画質を確認して下さい。

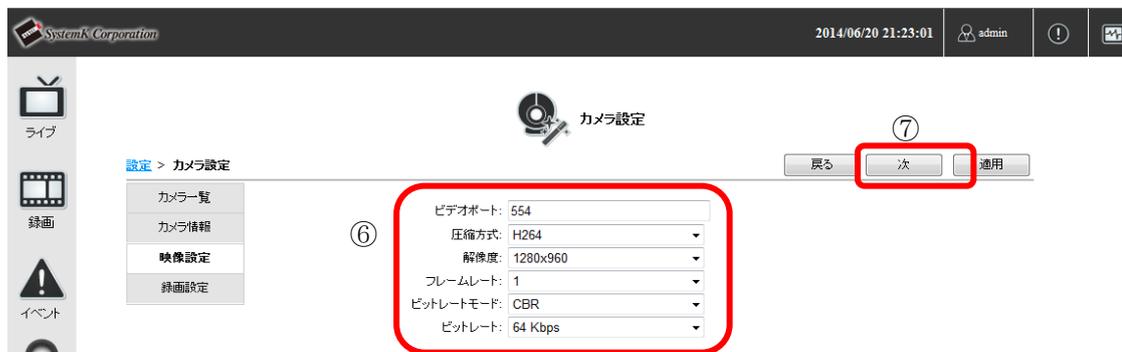
例：Panasonic i-pro シリーズ(1:最高画質>10:最低画質)

Panasonic BB-HCM シリーズ(1:最高画質>3:最低画質)

AXIS213(10:最高画質>1:最低画質)

○圧縮形式：H.264 の場合

圧縮形式、解像度、フレームレート、ビットレートモード、ビットレートを選択し「次」ボタンをクリックします。(⑥、⑦)



※Canon 製の一部カメラではカメラが対応していない解像度が選択可能ですが、カメラが対応していない解像度を選択すると、設定内容が適用されませんのでご注意ください。

●AXIS 魚眼カメラを登録する場合

MJPEG、H.264 いずれの場合も、上部に「チャンネル ID」という項目が追加されます。「チャンネル ID」を変更することで、魚眼カメラの見え方（O 型、パノラマ、4 分割表示等）を変更できます。



●AXIS 製 カメラのマルチストリームについて

AXIS 製カメラのみ、映像設定にて詳細設定が可能です。マルチストリームの設定を行うと、ライブビューの表示のサイズに合わせたストリームの最適化や、ライブと録画に異なるストリームを設定することができます。



映像設定画面で、右上の「詳細設定 (⑧)」にチェックをいれると、マルチストリームの設定画面が開きます。

ポート (⑨) にてストリーミングに使用するポートを設定します。デフォルトでは「554」に設定されています。

基本設定 (⑩) にてストリーム 1～4 の設定を行います。入力項目は圧縮方式によって異なります。

○圧縮形式：MJPEG の場合

圧縮形式、解像度、フレームレート、画質を選択します。

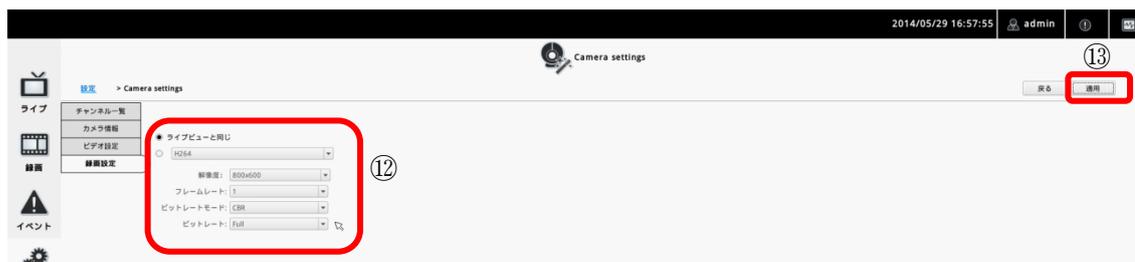
○圧縮形式：H.264 の場合

圧縮形式、解像度、フレームレート、ビットレートモード、ビットレートを選択します。

基本設定を終えた後、詳細設定 (⑪) を行います。ここではライブと録画で使用するストリームを選択します。ライブは「ライブビューに合わせたストリームの最適化」にチェックが入っている場合、ライブビューの表示サイズに合わせて、登録した4つのストリームから最適なストリームを選択し、ライブ映像に表示します。チェック外した場合、ライブのストリームをプルダウンから選択してください。録画はプルダウンから使用するストリームを1つ選択してください。

(6) 録画設定画面が表示されます。

録画映像を設定します。デュアルストリームのカメラは、映像設定と録画設定を異なる設定が出来ますが、マルチストリームのカメラは、「ライブビューと同じ」のみ選択出来ます。録画映像を設定し、「適用」ボタンをクリックします。(12、13)



※「ライブビューと同じ」に設定すると、圧縮方式と解像度がライブと同じ設定になります。

録画フレームレートは初期設定では、MJPEG 利用時は 1FPS、H.264 利用時は I Only となります。

録画フレームレートを変更するには、録画設定画面で変更することが出来ます。詳しくは「本書 B 設定編 3.録画設定 3-1 録画設定 ○チャンネル個別設定」をご参照ください。

設定が完了すると、完了メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。

カメラの一覧画面が表示されます。

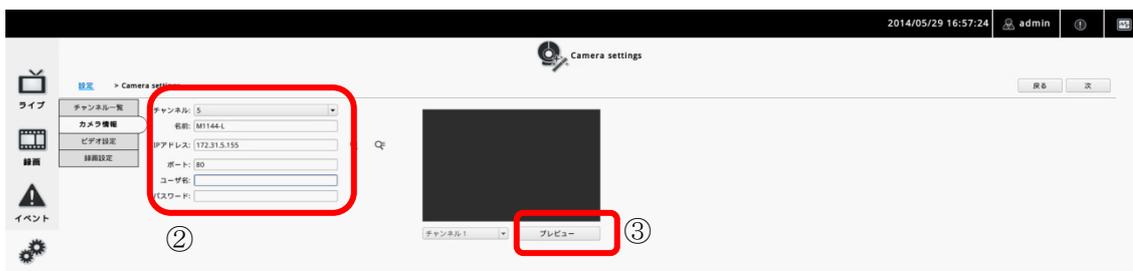
2-1-2. カメラの登録（手動追加）

- (1) 「手動で追加する」ボタンをクリックします。(①)



- (2) カメラ情報画面が表示されます。

チャンネル ID、名前、IP アドレス、ポート、カメラに設定されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力し「プレビュー」ボタンをクリックします。(②、③)



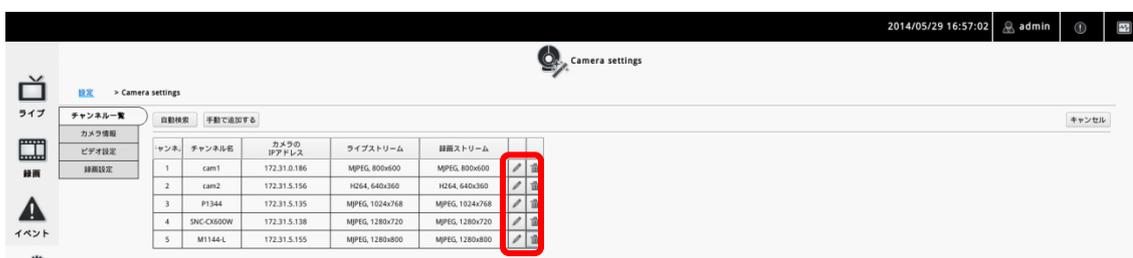
以降の手順は、「2-1-1. カメラの登録（自動検索）」の (4) ~ (6) を参照して下さい。

2-2 カメラの編集

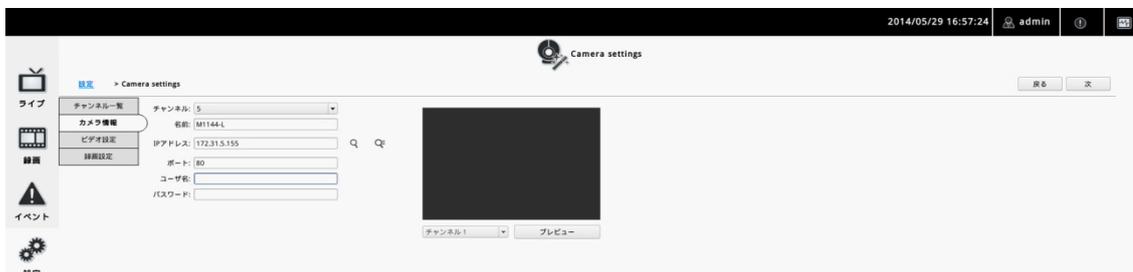
(1) 「編集」 ボタンをクリックします。(①)



(2) カメラ一覧画面上に編集「✎」、削除「🗑」ボタンが表示されます。
編集したいカメラの「✎」をクリックします。(②)



選択したカメラの情報が表示されます。



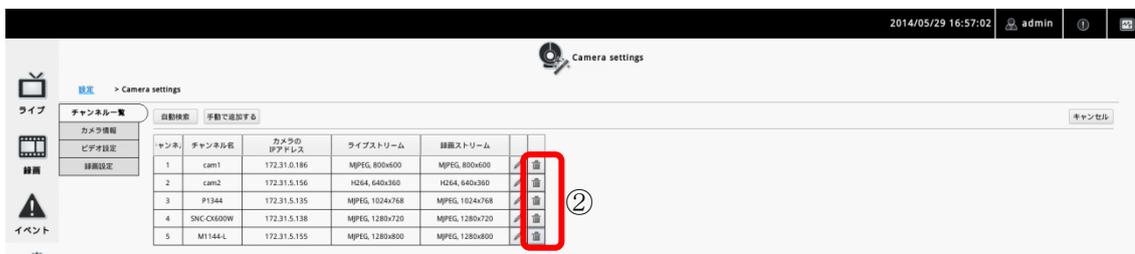
以降の手順は、「2-1-1. カメラの登録（自動検索）」の (5) ~ (6) を参照して下さい。

2-3 カメラの削除

(1) 「編集」 ボタンをクリックします。(①)



(2) カメラ一覧画面上に編集「✎」、削除「🗑」ボタンが表示されます。
削除したいカメラの「🗑」をクリックします。(②)



確認画面が表示されますので「OK」 ボタンをクリックします。

削除が完了すると、完了メッセージが表示されますので「OK」 ボタンをクリックします。

カメラの一覧画面が表示されます。

3. 録画設定

3-1 録画設定

(1) 録画設定画面の表示

設定メニュー画面の（ビデオと録画設定）「録画」をクリックします。

録画設定画面が表示されます。

(2) 録画設定



○全体設定 (①)

- ・HDD のリサイクルを有効にするをオンに設定すると、ハードディスクが一杯になった際、古いデータから上書き保存されます。チェックをはずすと、ハードディスクがいっぱいになった際、新しいデータは録画されなくなります。

- ・ 日前までの録画映像を保存するには、録画データを保存する日数を指定します。（日数は 1～365 の間で設定して下さい。）指定した日数より前の録画データは約 1 時間毎に削除されていきます。尚、設定日数分の保存容量が収納しているハードディスクの容量を上回る場合は指定日時分の保存はできません。チェックをはずすと、保存期間の制約がなくなります。（ハードディスクが一杯になるまで保存し、その後は上書き保存となります。）

○チャンネル個別設定 (②)

各チャンネル（カメラ）に対し、録画種別別の録画フレームレートと音声録画の有無を設定します。

●フレームレートについて

- ・MJPEG でカメラ登録時：1FPS～Full まで選択可能です。

FULL を選択すると、ライブ映像と同じ解像度で録画されます。

- ・H.264 でカメラ登録時：「I Only」または「Full」から選択可能です。

FULL を選択すると、ライブ映像と同じ解像度で録画されます。

I Only を選択すると、I フレームのみを録画します。そのため、ライブ映像よ

りもフレームレートは減少します。

滑らかなカメラ映像を保存したい場合は「Full」を、長期間の録画データを保存したい場合は「I Only」を選択するのがオススメです。

※音声非対応のカメラの場合でも録音のチェック可能ですが、チェックがついていても録音対応はできません。

※手動録画とイベント録画のフレームレートが異なり、手動録画中にイベント録画が重なっている間は、手動録画のフレームレートが優先されます。

フレームレートの優先順位は、手動録画>イベント録画>スケジュール録画>連続録画となります。

「適用」ボタンをクリックし設定内容を保存します。(③)

3-2 スケジュール録画設定

(1) スケジュール録画設定画面の表示

設定メニュー画面の（ビデオと録画設定）「スケジュール」をクリックします。
録画スケジュール設定画面が表示されます。

(2) スケジュール設定カメラの選択

スケジュールを設定するチャンネル（カメラ）を選択します。(①)

(3) スケジュールの選択

タイムライン上の録画したい時間帯をクリックし選択状態にします。(②)

選択された時間帯は背景色が黒色になります。

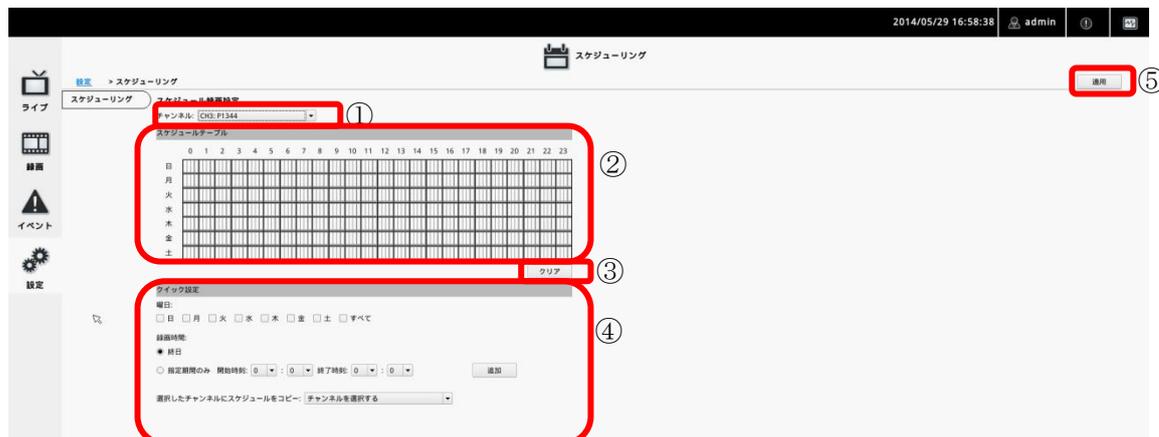
選択を解除する場合は、選択されている時間帯をもう一度、クリックします。選択が解除されると、背景色が白色になります。

「クリア」ボタンをクリックすると、現在選択されている時間帯が全て解除され、非選択状態になります。(③)

クイック設定

曜日を選択して纏めてスケジュールを設定する場合は、クイック設定の、曜日、録画時間帯を選択し、「追加」ボタンをクリックします(④)

「適用」ボタンをクリックし設定内容を保存します。(⑤)



4. プリセットポジション設定

チャンネル（カメラ）ごとに、PTZ カメラのプリセットポジションの登録を行います。

※PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ（非対応機種有り）も含まれます。

設定メニュー画面の（ビデオと録画設定）「プリセットポジション」をクリックします。
プリセットポジション設定画面が表示されます。

4-1 プリセットポジションの追加

プリセットポジションはカメラにより登録可能な数が異なります。

- (1) チャンネルを選択します。(①)
- (2) 表示されている映像上にマウスを置くと、アイコンが「▶」に変わりますので、マウスをクリックしてカメラの向きを調節します。(②)
- フォーカスを「近」、「遠」、「自動」のボタンをクリックして調節します。(③)
- (3) 位置、フォーカスが決まったら、「追加」ボタンをクリックします。(④)
- プリセットポジション一覧に追加されます。(⑤)



4-2 プリセットポジションの追加 (カメラと同期)

カメラに登録されたプリセットポジションを取得します。

※本機能は、NVR 側でプリセットポジションが登録されていない場合にのみ使用できます。

※本機能が使用できるカメラは、メーカー仕様に依存するため、手動でのプリセットポジション設定をお勧めします。(相対座標対応のカメラは本機能が使用でき、絶対座標対応のカメラは使用できません。相対座標対応カメラ例：Panasonic BB-HCM527)

- (1) チャンネルを選択します。(①)
- (2) 「カメラと同期」ボタンをクリックします。(②)

カメラに登録されているプリセットポジションが登録され、プリセットポジション一覧に表示されます。



4-3 プリセットポジションの名称変更

- (1) チャンネルを選択します。(①)
- (2) プリセットポジション一覧から変更したいポジションをクリックして選択状態にします。選択されたプリセットポジションは背景色が灰色になります。(②)
- (3) 「編集」ボタンをクリックします。(③)
プリセットポジションの名称が編集可能になります。
- (4) プリセットポジションの名称を編集します。(④)
「ポジション名」は半角英数字（最大 16 文字）で入力して下さい。
日本語で登録されたカメラと同期した場合、文字化けが発生します。その場合、半角英数字（最大 16 文字）で再設定して下さい。
- (5) 「完了」ボタンをクリックします。(⑤)
プリセットポジションの名称が変更されます。



4-4 プリセットポジションの削除

- (1) チャンネルを選択します。(①)
- (2) プリセットポジション一覧から変更したいポジションをクリックして選択状態にします。選択されたプリセットポジションは背景色が灰色になります。(②)
- (3) 「編集」ボタンをクリックします。(③)
プリセットポジションの名称の横に削除「X」ボタンが表示されます。
- (4) 「X」ボタンをクリックします。(④)
確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。
プリセットポジションが削除されます。



4-5 ポジション（ホーム、イベント発生時）設定

(1) チャンネルを選択します。(①)

(2) ポジション設定を設定します。(②)

・「ホームポジションとして、以下のプリセットポジションを設定する。」

※ここでのホームポジションの設定は、カメラ本体でのホームポジションの設定とは別となります。

・「イベントトリガー発生時に以下のプリセットポジションへ移動する。」

(3) 「適用」ボタンをクリックします。(③)

プリセットポジションが登録されます。



4-6 プリセットシーケンス設定

ここではプリセットポジションを巡回する設定をします。

※プリセットシーケンスは、プリセットシーケンス対応カメラでのみ設定してください。

プリセットシーケンスに対応していないカメラで設定をした場合、
カメラが故障する可能性があります。

例：Canon VB-S シリーズ 等

- (1) 「次」ボタンをクリックします。(①)

プリセットシーケンス設定画面が表示されます。

- (2) チャンネルを選択します。(②)

- (3) プリセットシーケンスを設定します。(③)

- ・シーケンスへ追加する。

プリセットポジションの一覧から追加するポジションをクリックして選択（背面が灰色に変わります）します。

「→」をクリックします。シーケンスの順番の一覧に追加されます。

- ・シーケンスから削除する。

シーケンスの順番の一覧から削除するポジションをクリックして選択（背面が灰色に変わります）します。

「←」をクリックします。シーケンスの順番の一覧から削除されます。

- ・シーケンスの順番を変更する。

シーケンスの順番の一覧から削除するポジションをクリックして選択（背面が灰色に変わります）します。

「↑」、「↓」をクリックして順番を入れ替えます。

- (4) 表示時間を選択します。(④)

確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。

- (5) 「適用」ボタンをクリックします。(⑤)

プリセットシーケンスが登録されます。

NVR ファミリー操作説明書



5. OSD（オンスクリーン表示）設定

ライブ画像に表示するテキストを設定します。

- (1) 設定メニュー画面の（ビデオと録画設定）「OSD」をクリックします。

OSD（オンスクリーン表示）設定画面が表示されます。

- (2) チャンネルを選択します。(①)

- (3) OSD 表示有無、表示項目、表示位置を設定します。(②)

※WEB ブラウザで設定した OSD テキストはディスプレイ直結では表示されません。

- (4) 「プレビュー」ボタンをクリックします。設定されて OSD 表示に従ってライブ映像が表示されます。(③)

- (5) 「適用」ボタンをクリックします。(④)

OSD 設定が登録されます。



6. イベント設定

イベントトリガー、イベント発生時のアクションを設定します。

設定メニュー画面の（イベント設定）「イベント発生要因」をクリックします。

イベント発生要因設定画面が表示されます。

6-1 イベント発生要因設定

(1) NVR のイベント発生要因を設定します。(①)

(2) カメラのイベント発生要因を設定します。(②)

・(カメラの入力) デジタル入力

カメラ本体にある I/O ポートと連動しています。カメラの I/O ポートを選択します。

・(カメラの入力) ポートの状態

イベントを実行させる際の、ポートの状態を選択します。

Open : 「開放」 → 「High」, 「Ground to Open」, 「Rising」

Ground : 「短絡 (ショート)」 → 「Low」, 「Open to Ground」, 「Falling」

Change : 「開放」と「短絡」が切り替わった時

・モーション検知

カメラ本体のモーション検知機能で検知された動きをトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。

※「モーション検知」の設定を行う場合は、最初にカメラの設定画面でモーション検知機能を有効にして下さい。

※カメラ側に複数の検知エリアを設定できる機種でも、NVR では最初に設定したエリアのみ有効となります。NVR でこの機能を設定する場合は、カメラ側に 1 箇所検知エリアを設定して下さい。

※NVR で「モーション検知」の設定を行うと、カメラ本体側の設定も変更される場合があります。カメラを本製品以外のソフトウェアで利用している場合は、ご注意ください。

・CMS ソフトウェアから

統合管理ソフトでインテリジェント機能を登録すると自動的にチェックが付き、統合管理ソフトでイベントが発生した際に NVR でもイベント録画を開始します。

(3) 「アドバンス」ボタンをクリックします。(③)

アドバンス画面が開きます。

(4) イベントトリガーの詳細を設定します。(④)

・イベントトリガー時間

イベントトリガー (イベント発生要因) を有効にする時間帯を設定します。

※イベントトリガーの有効期間の指定時間のみの設定は、カメラのモーション検知

とカメラの I/O のイベントのみ有効となります。その他のイベントに関しては、常時有効となります。

※初期状態は常時です。

・ イベントトリガー間隔

イベント発生後、次のトリガーを検知するまでの間隔を設定します。

※イベントトリガー間隔の設定可能範囲は 5-86400 秒です。

・ イベント録画のバッファ

イベント発生前後の録画時間を設定します。イベント発生時を中心に前後数秒の時間を録画します。

プリアラームバッファ：

イベント発生時からさかのぼって録画する秒数を指定します。

※プリアラームバッファの秒数は 0~10 秒を 1 秒単位で入力します。

ポストアラームバッファ：

イベント発生時から後に録画する秒数を指定します。

※ポストアラームバッファの秒数は 5~60 秒を 1 秒単位で入力します。

(5) 「OK」 ボタンをクリックします。(⑤)

アドバンス画面が閉じます。

(6) 「適用」 ボタンをクリックします。(⑥)

イベント発生要因の設定が登録されます。

2016/03/17 21:07:37 admin

イベント発生要因

設定 > イベント発生要因

次 適用 ⑥

NVRイベント

- ディスクエラー
- ディスクステータス変化
- HDDの上書き処理開始
- ハードディスク空き領域 GB以下
(ハードディスク再利用機能が無効の場合は、2GB以上の値を指定)
- システム温度異常を検出
- NVR起動
- 設定変更
- チャンネル設定の変更
- カメラ接続状態変化
- イベントログの空き容量が20%以下
- イベントログの上書き開始

①

カメライベント

通知:

*モーション検知機能を有効にする前に、カメラ本体の設定画面でモーション検知正しく設定してください。またNVRがサポートするモーション検知エリアは一つです。カメラに複数の検知エリアを設定した場合は最初に設定した領域だけが有効となります

*イベントログのチェックをつけると、イベント情報がログファイルにも保存されます。チェックを外すとイベント発生時には録画のみを行います。

*同じカメラをNVRに二重登録すると、最初に登録したチャンネルでのみ、モーション検知およびI/Oイベントが利用できます。

	カメラから		モーション検知	CMSソフトウェアから	イベントログ
	カメラのデジタル入力	ポートの状態			
	デジタル入力	ポートの状態			
CH 1	無効にする	無効にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*
CH 2	無効にする	無効にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*
CH 3	無効にする	無効にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*
CH 4	無効にする	無効にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*
CH 5	無効にする	無効にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*
CH 6	無効にする	無効にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*

②

アドバンス ③

イベントトリガー時間

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

日

月

火

水

木

金

土

④

イベントトリガー間隔

秒 (5-86400) クリア

イベント録画のバッファ

プリアラームバッファ: 秒 (0-10)

ポストアラームバッファ: 秒 (5-60)

⑤ OK キャンセル

6-2 E-mail 通知設定

イベント発生時にメールを送信する際に使用する SMTP サーバの設定をします。

- (1) 「次」 ボタンをクリックします。(①)

通知設定画面が表示されます。

- (2) プライマリ SMTP サーバ、セカンダリ SMTP サーバ (任意) を設定します。(②)

※セカンダリ SMTP サーバは、プライマリ SMTP サーバが使用できない場合の、バックアップ用のメールサーバ設定となります。通常は設定不要です。

- (3) テストメールを送信します。

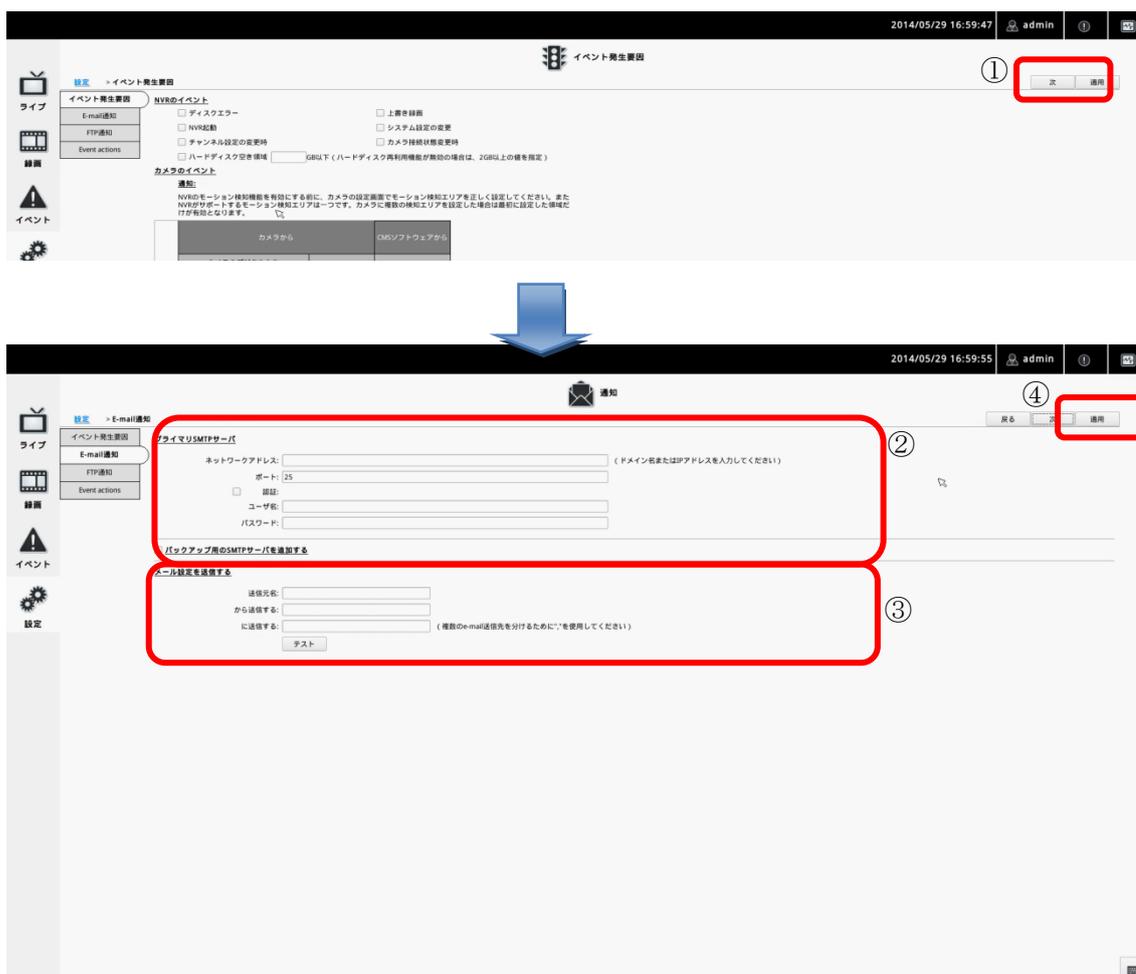
送信元名、送信元メールアドレス、送信先メールアドレスを入力し、「テスト」 ボタンをクリックします。(③)

送信先のメールアドレスのメールを参照し、メールが届いていることを確認します。

※メールアドレスは 127 文字まで登録可能です。“,” 区切りで複数の登録が可能です。

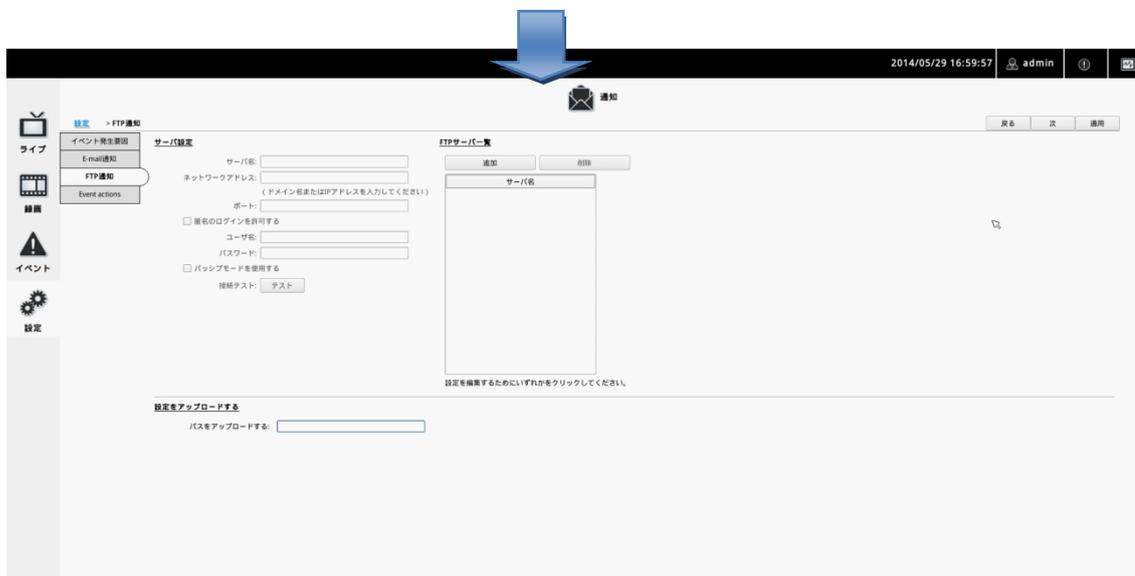
- (7) 「適用」 ボタンをクリックします。(④)

E-mail 通知の設定が登録されます。



6-3 FTP 通知設定

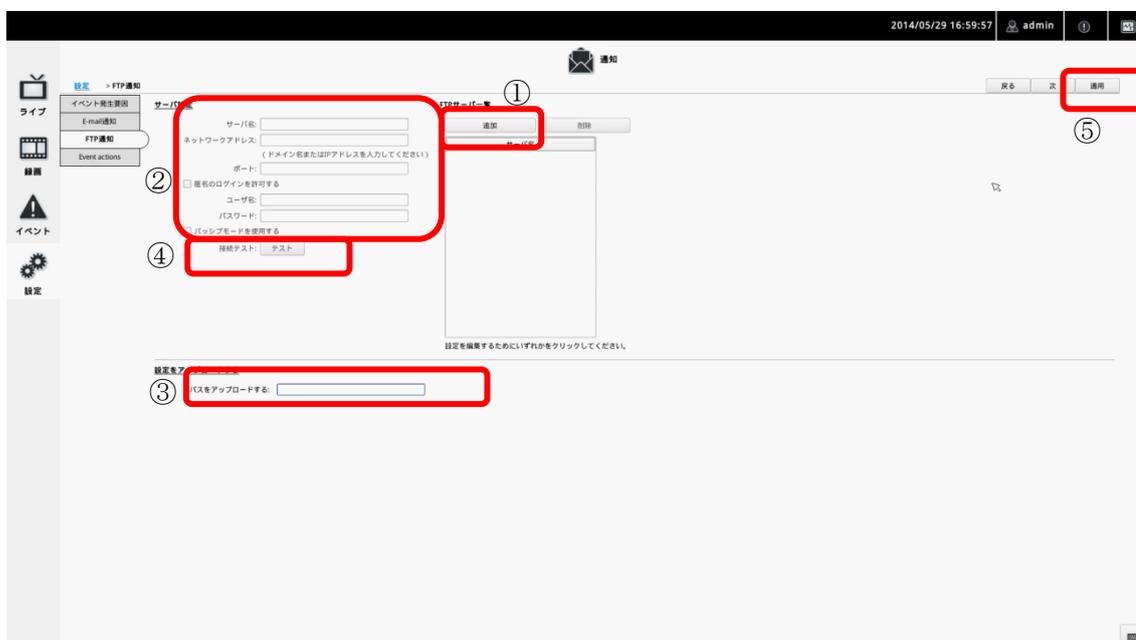
イベント発生時に画像を転送する FTP サーバの設定をします。
 イベント要因設定画面で「次」ボタンをクリックします。(①)
 E-mail 設定画面で「次」ボタンをクリックします。(②)
 FTP 通知設定画面が表示されます。



6-3-1. FTP サーバの追加

- (1) 「追加」 ボタンをクリックします。(①)
FTP サーバ設定欄が入力可能になります。
- (2) FTP サーバ情報を入力します。(②)
※通常は「パッシブモードを使用」にチェックを入れます。
- (3) アップロードパスを入力します。(③)
- (4) 「テスト」 ボタンをクリックして、接続テストを行います。(④)
- (5) 「適用」 ボタンをクリックします。(⑤)

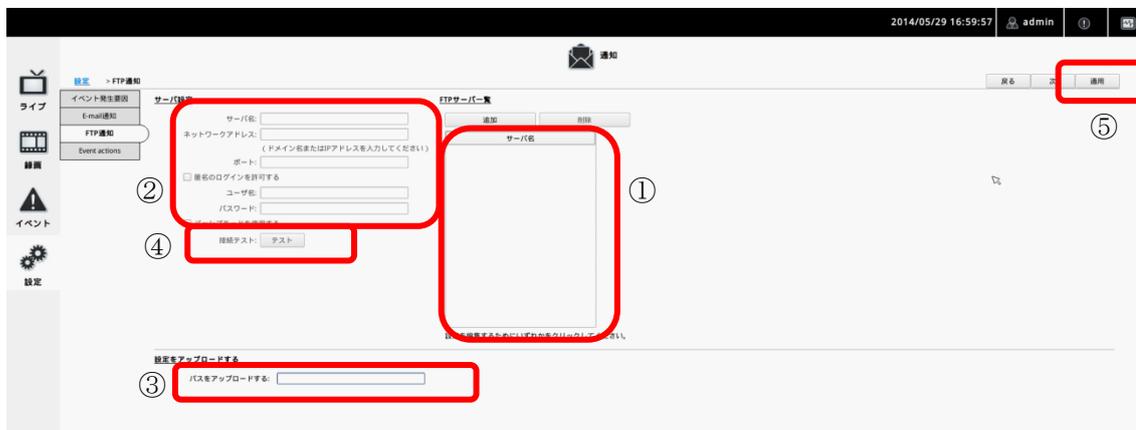
FTP 通知の設定が登録されます。



6-3-2. FTP サーバの編集

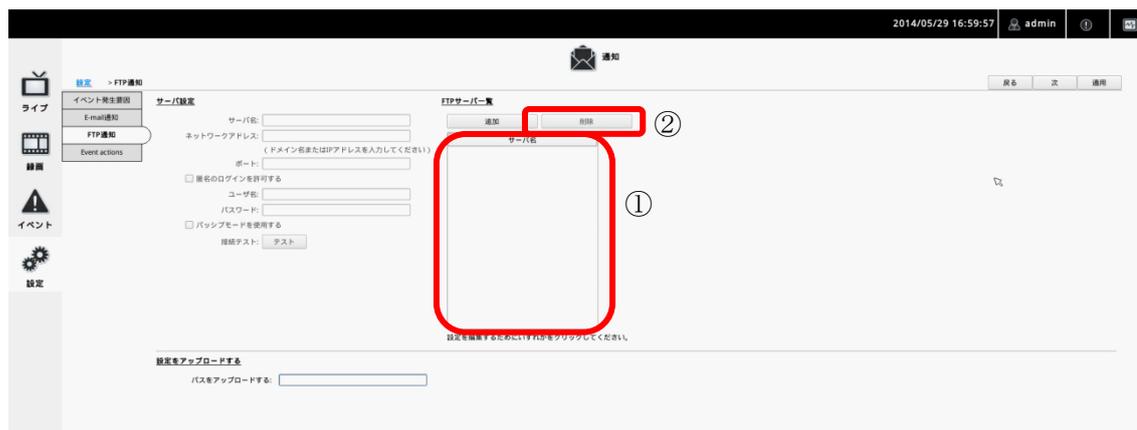
- (1) サーバ名一覧から編集したいサーバ名をクリックして選択します。選択されたサーバ名は背景色が灰色になり、FTP サーバ設定にクリックされたサーバの情報が表示されます。(①)
- (2) FTP サーバ情報を入力します。(②)
※通常は「パッシブモードを使用」にチェックを入れます。
- (3) アップロードパスを入力します。(③)
- (4) 「テスト」ボタンをクリックして、接続テストを行います。(④)
- (5) 「適用」ボタンをクリックします。(⑤)

FTP 通知の設定が登録されます。



6-3-3. FTP サーバの削除

- (1) サーバ名一覧から編集したいサーバ名をクリックして選択します。選択されたサーバ名は背景色が灰色になります。(①)
 - (2) 「削除」ボタンをクリックします。(②)
- 確認画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックします。
FTP サーバが削除されます。



6-4 イベントアクション設定

イベント発生時に実行するアクションを設定します。

- (1) 「次」 ボタンをクリックします。(①)

E-mail 通知画面が表示されます。

- (2) 「次」 ボタンをクリックします。(②)

FTP 通知画面が表示されます。

- (3) 「次」 ボタンをクリックします。(③)

イベントアクション設定画面が表示されます。

- (4) イベントアクション設定をします。(④)

- ・警告音

- NVR 本体のブザーを鳴らします。

- ・メールテキストファイル

- テキストファイルを添付したメールを送信します。

- ・FTP サーバにテキストファイルをアップロード

- FTP サーバのアップロードパスにテキストファイルを送信します。

- ・メールスナップショット

- スナップショットを添付したメールを送信します。

- スナップショットの枚数は 1～3 から選択可能です。

- ・FTP サーバにスナップショットをアップロード

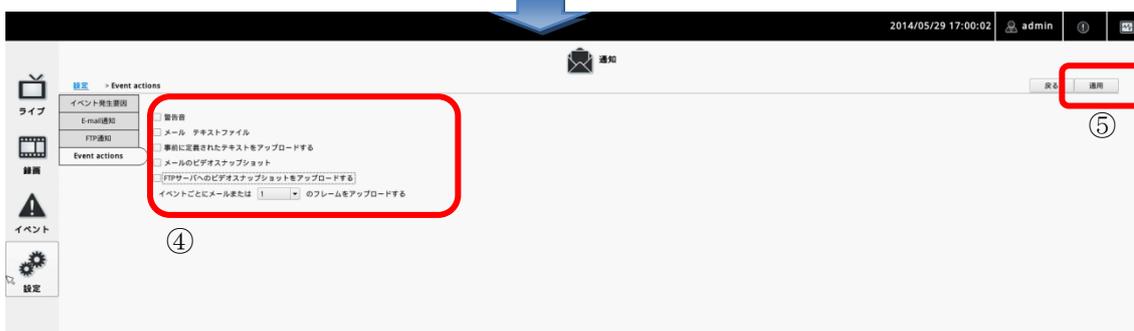
- FTP サーバのアップロードパスにスナップショットを送信します。

- スナップショットの枚数は 1～3 から選択可能です。

- (5) 「適用」 ボタンをクリックします。(⑤)

イベントアクションの設定が登録されます。

NVR ファミリー操作説明書



7. マップ設定

マップ上にカメラを配置します。

設定メニュー画面の（イベント設定）「マップ」をクリックします。

マップ設定画面が表示されます。



7-1 マップ設定

7-1-1. マップ画像の変更

- (1) 「検索」ボタンをクリックし、『アップロードするファイルの選択』ダイアログを表示し、差替えたい画像を選択します。(①)

※マップとして使用できる画像形式は「jpg」で画像サイズは500KB以内です。

- (2) 「アップロード」ボタンをクリックし、マップ画像を変更します。(②)
- (3) 「適用」ボタンをクリックします。(③)

マップ画像が登録されます。



7-1-2. マップへカメラの配置

- (1) 「全チャンネルを追加する」ボタンをクリックします。(①)
マップ上に全チャンネル（カメラ）が追加されます。
- (2) カメラの画像をドラッグして、移動・配置します。
※「マップをリセットする」ボタンをクリックすると、マップ上のカメラが全て削除されます。
- (3) 「適用」ボタンをクリックします。(②)
カメラの配置が保存されます。



7-1-3. マップの階層化

- (1) 「追加」 ボタンをクリックします。(①)
- (2) マップの名前を入力し、「OK」 ボタンをクリックします。(②)
- (3) マップアイコンが表示されますので、任意の位置にドラッグして移動・配置します。(③)
- (4) 「適用」 ボタンを押します。(④)
- (5) 「E-Map」 のプルダウンから表示したいマップを選択します。(⑤)

画面下部のマップリストからマップを選択し、「削除」 ボタンを押すとマップを削除できます。(⑥、⑦)



8. デバイス情報表示

NVR のデバイス情報を表示します。

設定メニュー画面の（NVR 詳細設定）「デバイス情報」をクリックします。



9. ログ表示

NVR のシステムログを表示します。

設定メニュー画面の（NVR 詳細設定）「ログ」をクリックします。

NVR のシステムログにはアラート、イベント、ユーザーアクセス情報が記録されます。



9-1 ログを出力する

- (1) 「ログをエクスポート」ボタン (①) をクリックします。
 - (2) 保存先の USB メモリを確認し「OK」ボタンをクリックします。
 - (3) 「すべてのログをエクスポートする」または「特定の時間のログをエクスポートする」を選択します。
 - (4) 「エクスポート」ボタンをクリックし、エクスポートを開始します。
 - (5) エクスポートが完了しましたら、「OK」ボタンをクリックします。
- ※事前に USB メモリを NVR 本体に接続している必要があります。

9-2 ログを消去する

「ログ消去」ボタン (②) をクリックすると、ログを全て消去します。

10. メンテナンス

NVR のメンテナンスを行います。設定メニュー画面の（NVR 詳細設定）「メンテナンス」をクリックします。メンテナンス画面が表示されます。



10-1 NVR の再起動

本製品を再起動する場合、「再起動」 ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

10-2 カメラの再起動

カメラを再起動する場合、プルダウンから再起動するカメラを選択し、「再起動」 ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

10-3 工場出荷時の状態に戻す

「工場出荷時の状態に戻す」 ボタンをクリックします。
※リセットを行っている間は電源をオフにしないで下さい。
※NVR を工場出荷状態に初期化すると言語設定が英語に変更されます。画面右上の
「 admin」をクリックし、言語を日本語に設定し直して下さい。
※工場出荷時の ID/Password は admin/admin です。

10-4 ロゴを変更する

- (1) 「ロゴ画像を検索する」 欄の「参照」 ボタンをクリックしてダイアログ画面を開き、ロゴ画像を指定します。
 - (2) 「変更」 ボタンをクリックします。
- ※ロゴで使用可能な画像形式は「GIF」で画像サイズは 500KB 以内です。

11. バックアップと復元

NVR の設定情報のバックアップと復元を行います。

設定メニュー画面の（NVR 詳細設定）「バックアップと復元」をクリックします。

バックアップと復元画面が表示されます。



11-1 設定をバックアップする

- (1) 「バックアップ」ボタンをクリックします。

バックアップファイルのダウンロード画面が表示されますので、任意のフォルダに保存します。

11-2 設定を復元する

- (1) 「設定ファイルを検索する」欄の「参照」ボタンをクリックしてダイアログ画面を開き、バックアップファイルを指定します。
- (2) 「復元」ボタンをクリックします。

※復元を行っている間は電源をオフにしないで下さい。

※修復を実施した場合、IP アドレスはオートモードに変わります。付属の「NVR 検索」で NVR を検出して下さい。DHCP サーバ（ルータ等）のないネットワークに接続されている場合は、192.168.101.50 に設定されます。

12. USB バックアップ

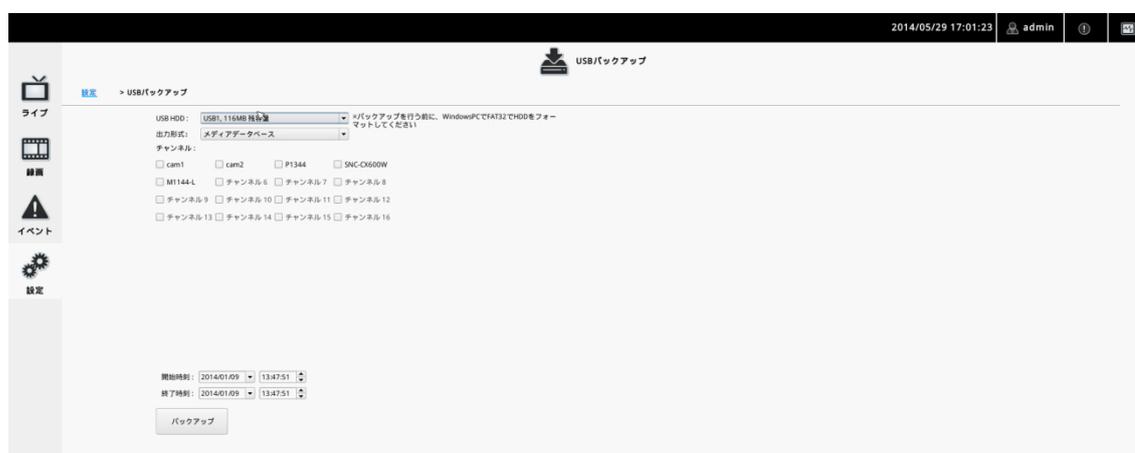
録画映像を USB 接続ストレージにバックアップします。

設定メニュー画面の（NVR 詳細設定）「USB バックアップ」をクリックします。

USB バックアップ画面が表示されます。

※ あらかじめバックアップ用 USB メモリを FAT32 でフォーマットします。

動作確認済みの USB メモリの容量は 32GB までとなります。



・ USB HDD

USB 接続ストレージを NVR 前面の USB ポートに接続すると NVR が認識し「USB HDD」にストレージ情報が表示されます。

※同時にバックアップできる USB 接続ストレージは 1 つのみです。

・ 出力形式

出力形式を選択します。

・ チャンネル

データのバックアップをするチャンネル（カメラ）をチェックします。

最大 4 チャンネルまで同時に選択できます。

・ 開始時間、終了時間

バックアップする開始時間と、終了時間を指定します。

「バックアップ」ボタンをクリックするとバックアップが開始されます。

※バックアップデータの再生は、NVR Media Player で行って下さい。

※NVR Media Player を使用する際は、最新版をお使い下さい。

最新版の NVR Media Player は <https://nvr.bz/support/catalogdl/software.php> からダウンロード可能です。

※USB メモリは 100MB 以上の空き容量が必要です。

※USB メモリに複数のパーティションがある場合、1 番目のパーティションのみにバックアップが出来ます。

※出力されるフォルダ名は下記の通りとなります。

MAC_backupbuttonclicktime_starttime_endtime

例 : 0028687831_20100610151515_20100605110010_20100606110010

13. NVR Media Player の操作方法

NVR Media Player は NVR 専用の再生プレイヤーです。

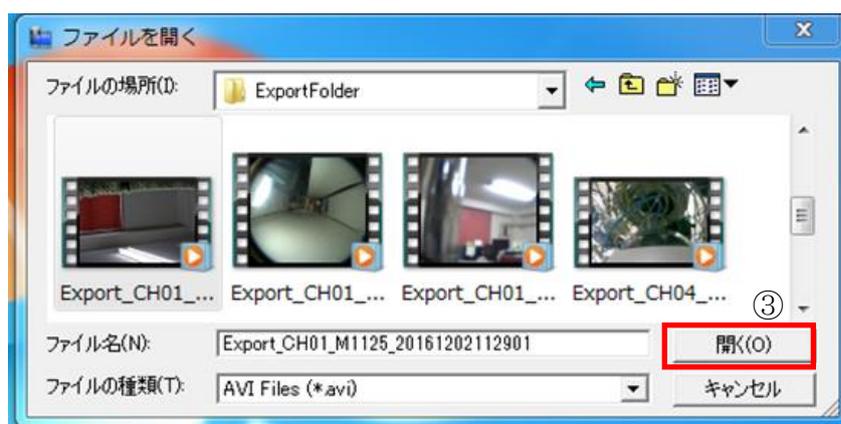
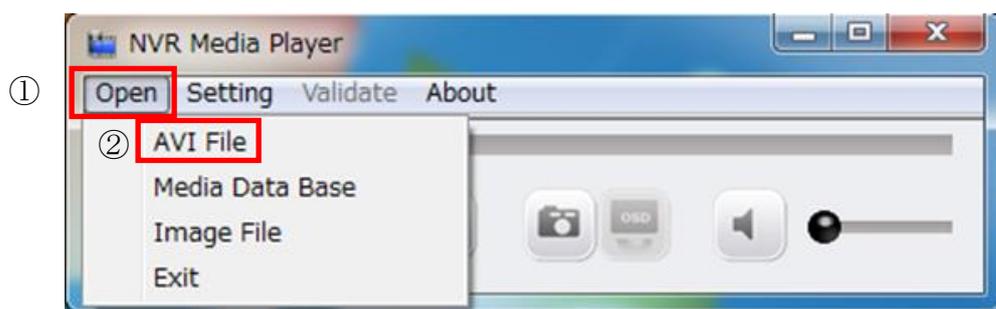
NVR 付属の CD 又は、下記 URL からダウンロードできます。

■NVR Media Player ダウンロード

<https://nvr.bz/support/catalogdl/software.php>

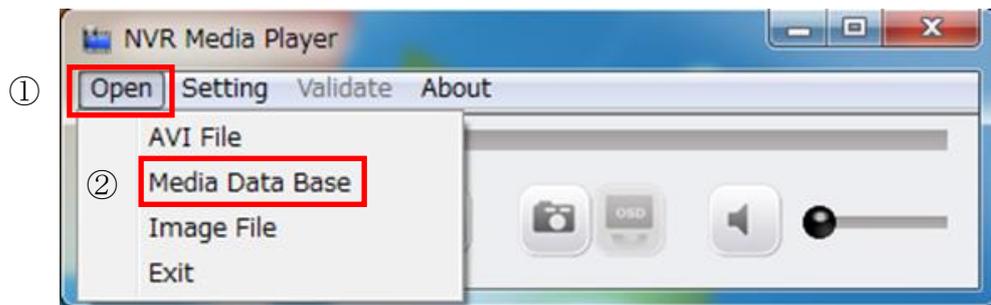
• 13-1 AVI File を再生

- (1) NVR Media Player を起動します。
- (2) OPEN を選択します。(①)
- (3) AVI File を選択します。(②)
- (4) 視聴したい AVI ファイルを選択し、[開く] を押します。(③)

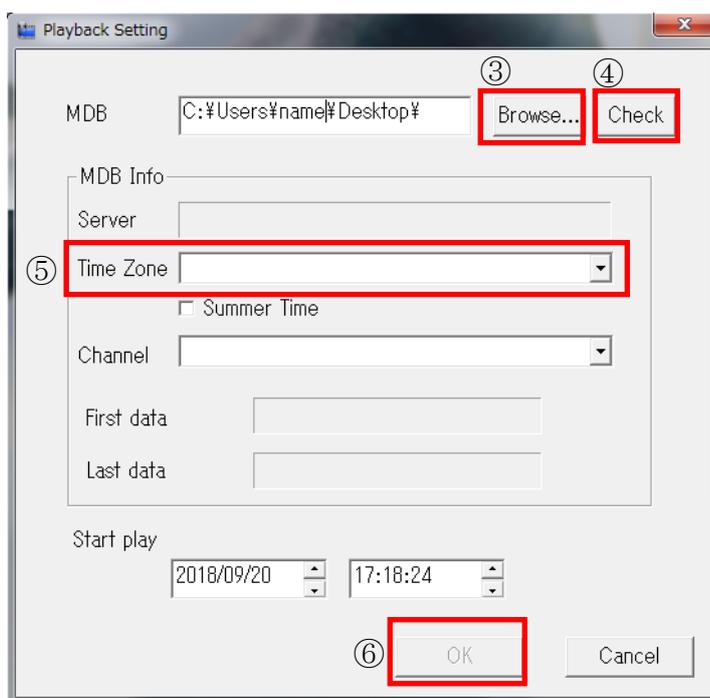


• 13-2 Media Data Base を再生

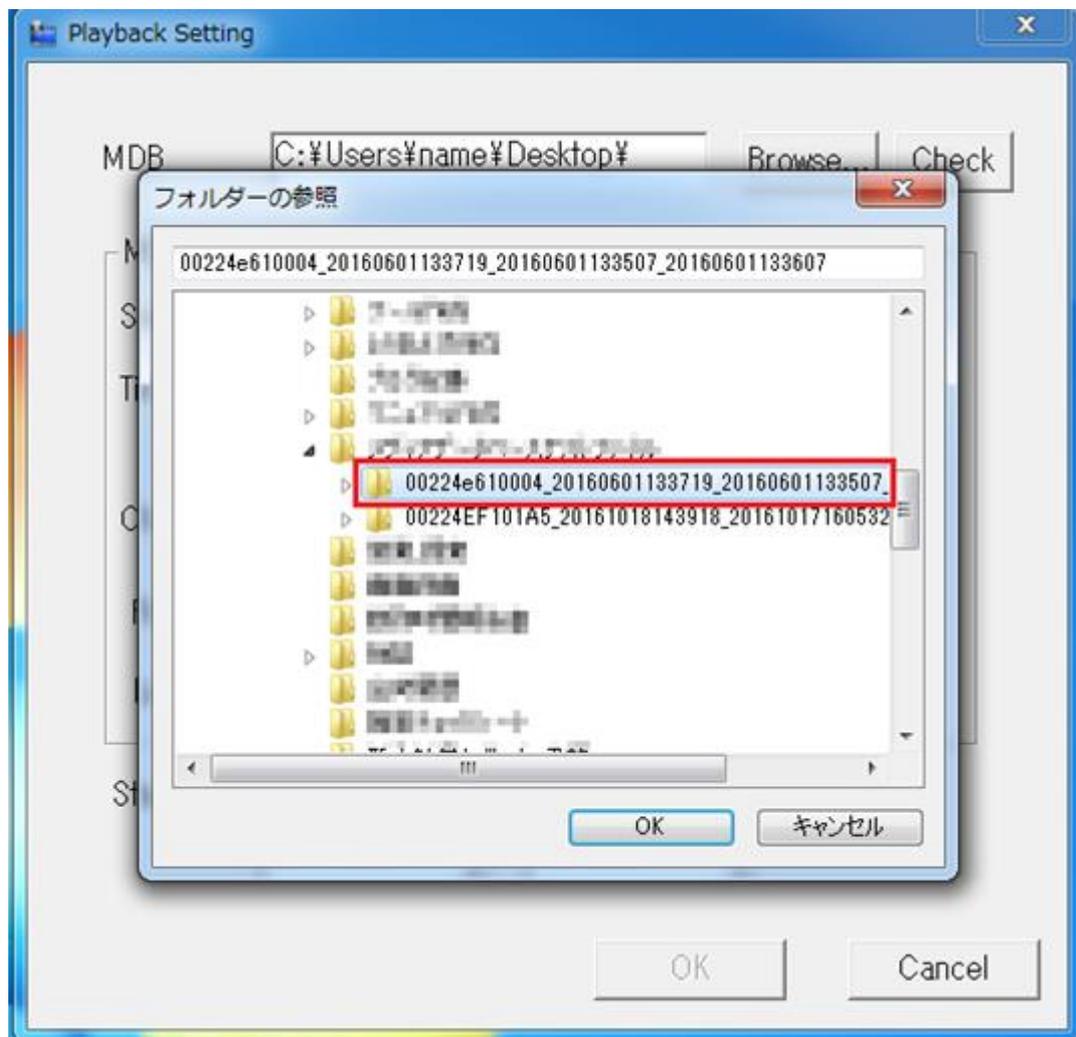
- (1) NVR Media Player を起動します。
- (2) OPEN を選択します。(①)
- (3) Media Data Base を選択します。(②)



- (4) Browse...を押します。(③)
- (5) 再生したいフォルダを選択してください。 ※注 1
- (6) Check をクリックします。(④)
動画の取得に成功した場合「Get Media Database Success!!」と表示されます。
- (7) Time Zone のプルダウンから [GMT +9 Osaka, Sapporo, Tokyo] を選択します。(⑤)
- (8) [OK] を押します。(⑥)



※注 1 Media Date Base はフォルダごと指定を行ってください。



14. 製品仕様

本製品の仕様につきましては付属 CD 内のデータシートでご確認ください。